

RSWA-C402C リンナイ 食器洗い乾燥機

も く じ

1	安全上のご注意	1	8	設置後の点検	28
2	各部の名称および寸法図	3	9	試運転	29
3	付属品の確認	4	10	異常報知について	30
4	設置場所について	5	11	冷却排水の設定	31
5	電気工事	7	12	お客様への説明	32
6	配管工事	9	13	仕様	34
7	設置	11			



(工場管理)

JW0018-821×03 (00)
220300A
07000008077220

設置される方へのお願い

- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになり、法律に基づいて指定された設置を行ってください。
- 配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。
- 設置が終わったら「8 設置後の点検」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 試運転終了後、安全のため水道の元栓を閉めてください。また配電盤のブレーカは OFF にしないでください。

1 安全上のご注意

この設置説明書では製品を正しく設置をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が軽傷を負う可能性が想定される、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



- 設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

警告

お客様へ

- 据え付けはお買い上げの販売店、または専用業者に依頼する
ご自分で据え付けをされ不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。



⚠警告

設置される方向へ	■アースを確実に取り付ける ●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 ●アースの取り付けは販売店にご相談ください。	!
	■定格15A のコンセントを単独で使用する 他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。	!
	■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく 火災の原因になります。	!
	■電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不十分の場合、感電や発火の原因になります。	!
	■食器洗い乾燥機は水平器を用いて水平で安定した場所に設置する 万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。	!

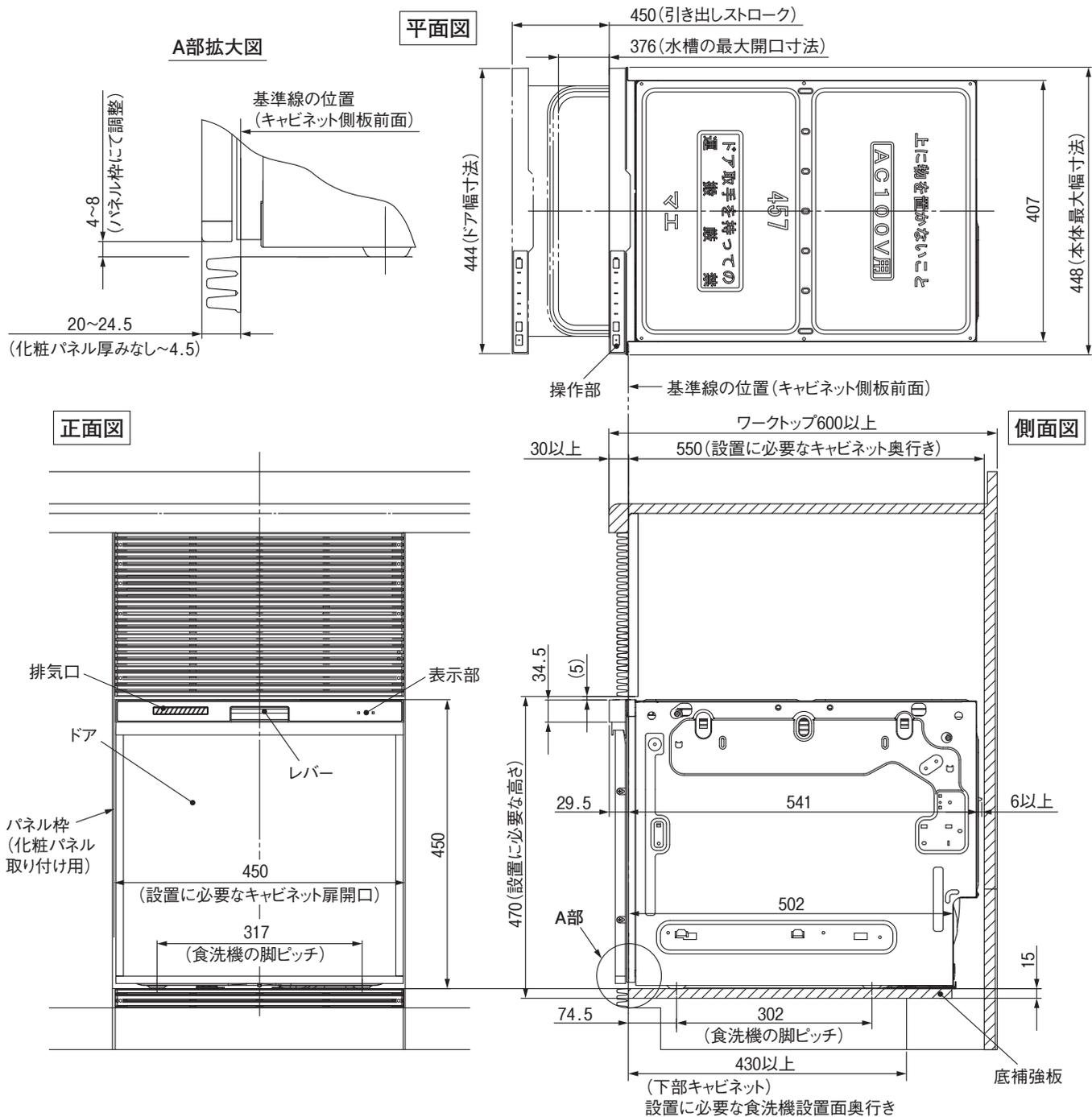
⚠注意

設置される方向へ	■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	⊘
	■交流100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。	⊘
	■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	⊘
	■設置部品は必ず付属品および指定部品を使用する 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因になります。	!
	■製品の移動や据え付け時は手袋をして作業を行う 万一のけが防止のためです。	!
	■給湯、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に除去 配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。	!
	■凍結のおそれがある場所(室温 0℃以下)へは設置しない 水漏れの原因になります。	⊘
	■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する 主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。	!
	■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。	!
	■設置および試運転終了後、配電盤のブレーカは OFF にしない ブレーカが OFF になっていると、万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる可能性があります。	⊘
■元付け型の浄水器に接続しない 元付け型の浄水器に接続した場合、残留塩素濃度が0.1ppm 未満となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。※水道法の基準は0.1ppm 以上	⊘	

2 各部の名称および寸法図

●ビルトイン奥行き600mm以上必要です。

(単位：mm)



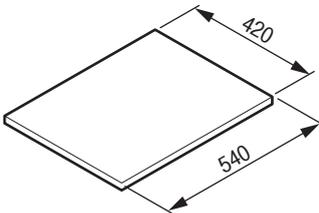
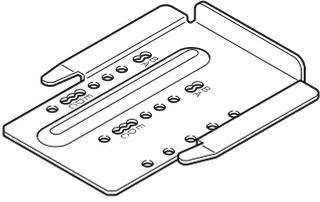
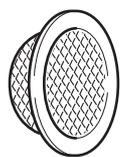
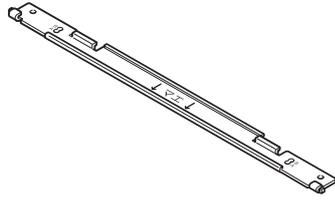
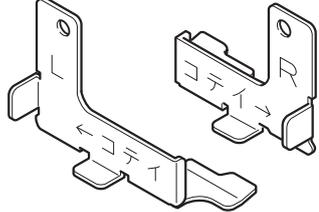
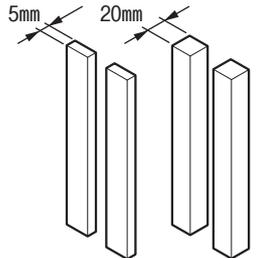
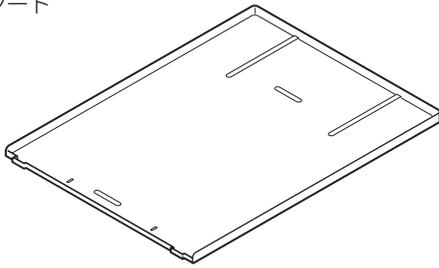
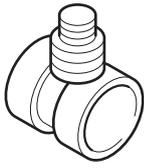
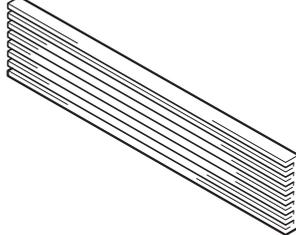
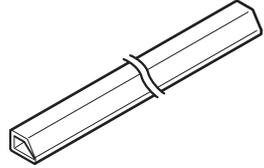
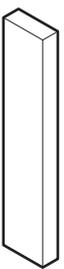
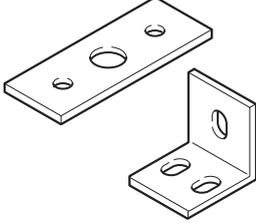
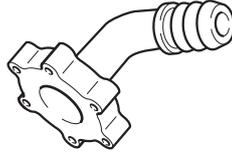
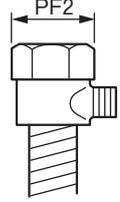
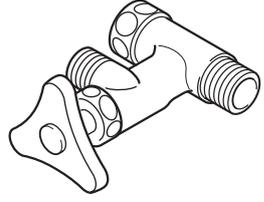
(図 1)

(図 2)

3 付属品の確認 ● 設置を始める前に付属品の有無を確認してください。

● 金具取付シート以外の付属品は、本体の中に同梱されています。金具取付シートは本体の上に梱包してあります。

設置に必要な付属品

<p>○底補強板</p> 	<p>○転倒防止金具</p> 	<p>○フィルター付パッキン</p>  <p>※フィルター付パッキンは給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っています。</p>	<p>○移動防止金具K</p> 																	
<p>○移動防止金具P (右、左) (2個)</p> 	<p>○スペーサー (各2個)</p> 	<p>○金具取付シート</p> 																		
<p>○排水分岐管 (耐熱仕様) 集合住宅用の直管配管分岐用として使用します。</p>  <p>(VP40用)</p>	<p>○フィラー (3個)</p> 	<p>○防虫パッキン</p> 	<p>○戸当り</p> 																	
<p>○戸当り固定金具 (平型1枚、L型1枚)</p> 	<p>○排水ジョイント (パッキン付)</p>  <p>(PF3/4)</p>	<p>○Y管排水ホース</p> 	<p>○分岐止水栓 (1個)</p> 																	
<p>○取付ねじ</p> <table border="0"> <tbody> <tr> <td>タッピングねじ</td> <td>4×12</td> <td>4本</td> </tr> <tr> <td>タッピングねじ</td> <td>4×16</td> <td>5本</td> </tr> <tr> <td>皿ねじ</td> <td>4×16</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>木ねじ (黒色)</td> <td>4.1×16</td> <td>18本</td> </tr> <tr> <td>コーススレッドねじ</td> <td>3.8×32</td> <td>4本</td> </tr> </tbody> </table>				タッピングねじ	4×12	4本	タッピングねじ	4×16	5本	皿ねじ	4×16	1本	木ねじ (黒色)	4.1×16	18本	コーススレッドねじ	3.8×32	4本		
タッピングねじ	4×12	4本																		
タッピングねじ	4×16	5本																		
皿ねじ	4×16	1本																		
木ねじ (黒色)	4.1×16	18本																		
コーススレッドねじ	3.8×32	4本																		

別売品

○延長用排水ホース

(ホースソケット 1個付)
(ホースバンド 2個付)

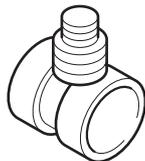
排水ホースを延長する場合に使用します。
(長さ1.2m)



(KWP-452H)

○排水分岐管 (耐熱仕様)

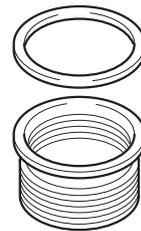
集合住宅用の直管配管分岐用として使用します。



(KWP-452B) (VP50用)

○異径ソケット (平パッキン・ワッシャー付)

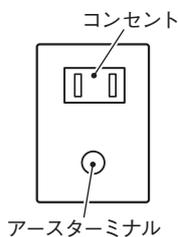
1½インチの排水トラップ接続用に使用します。



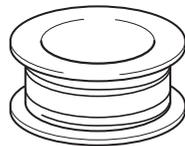
(KWP-452IK)

別途調達部品

定格15A以上の専用回路



配管部品 (一例)



シールテープ



フレキシ管
(13mm)

キッチンの内部で分岐する場合に使用 (配管により異なります。)

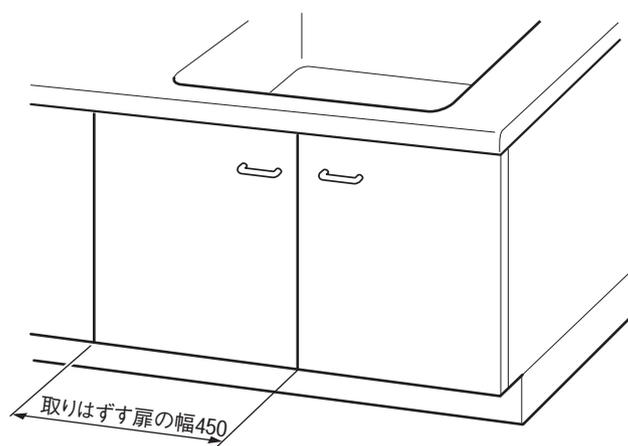
4 設置場所について

1 設置場所の確認

1. 扉の確認

- ①扉は取りはずせるか、チェックします。
- ②設置部分に450mm 幅の扉がついているか確認します。

(単位:mm)

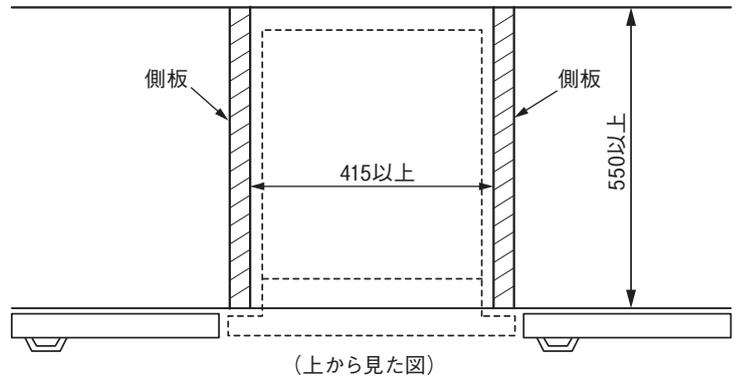
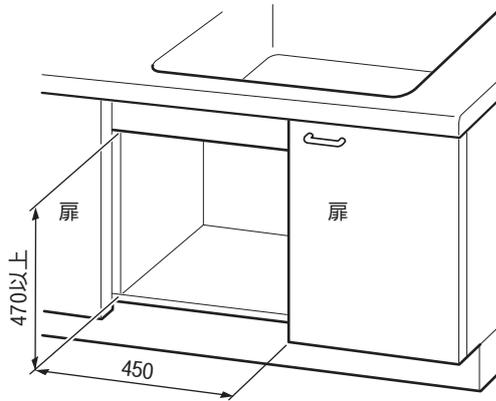


(図3)

1 設置場所の確認

- ③設置部の開口高さが470mm以上であることを確認します。
- ④設置部の幅が415mm以上であることを確認します。
- ⑤設置部の奥行が550mm以上であることを確認します。

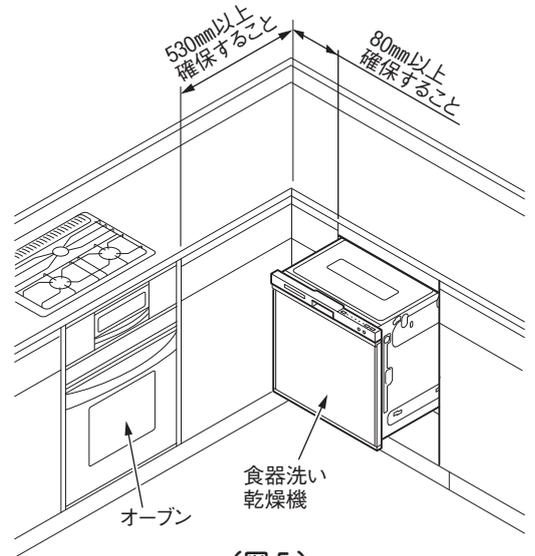
(単位:mm)



(図4)

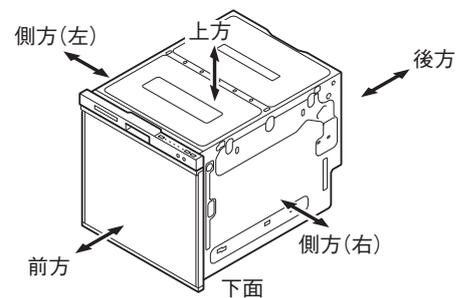
お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブンの取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。(図5)
- ※ 本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。法令(電気設備の技術基準の解釈)により義務づけられています。
- この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号(対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準)」に適合しております。
建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に掲げる値以上の距離を保ってください。



(図5)

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0

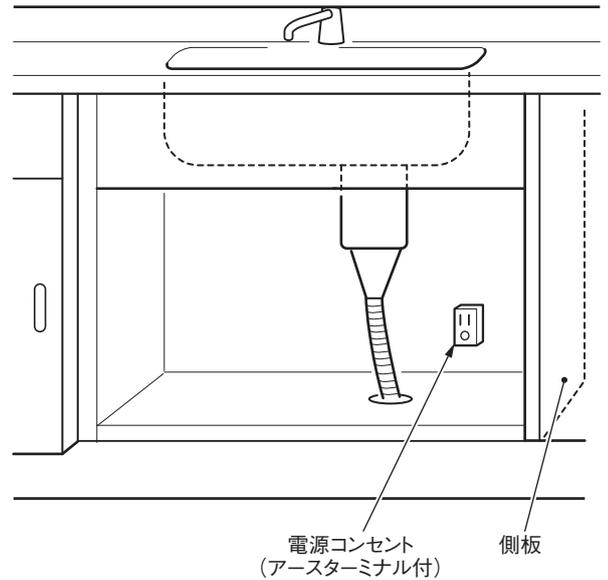


5 電気工事

1 電源の確認

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

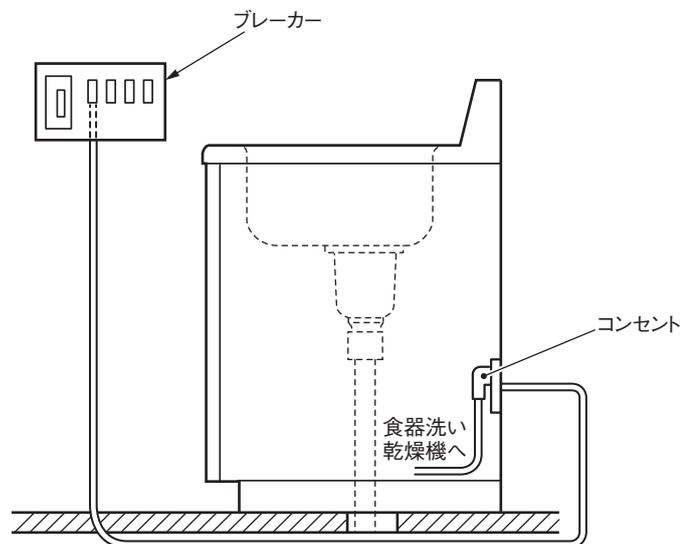
- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置するシンクキャビネットの側板の近くに、給・排水工事部分 avoided 位置（図6）に電源コンセントを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
（コンセントは125V、15Aのアースターミナル付電源コンセントを設けてください。）
- 本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。
（28ページの図71）



（図6）

配電盤（ブレーカー）から専用回路を取る

- 専用ブレーカーを使用し、配線を行ってください。



（図7）

⚠警告

■15Aのコンセントを単独で使用する

他の器具と併用したり、容量以下のものは、異常発熱して発火の原因になります。



⚠注意

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

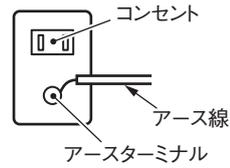
主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。



2 アースについて

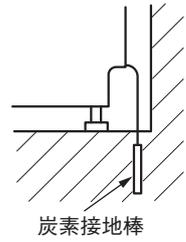
- 市販の炭素接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
(電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう法令で定められています。)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
(アース工事は有料ですのでご了承ください。)

アースターミナル付
コンセントの場合



(図8)

炭素接地棒を使用の
場合



(図9)

⚠警告

■アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース確認

6

配管工事

1 給湯器の確認

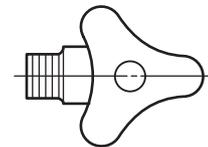
- 給湯接続の場合は10号以上の先止め式ガス湯沸器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃未満の温度に調整可能な機器に接続してください。

⚠注意	
■元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない	⊘
■特に高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm ² ）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2kgf/cm ² ）程度に減圧する	!

- 本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意	
■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける 水漏れの原因になります。	!
■70℃以上のお湯が供給される給湯（水）栓への配管には接続しない 故障の原因になります。	⊘

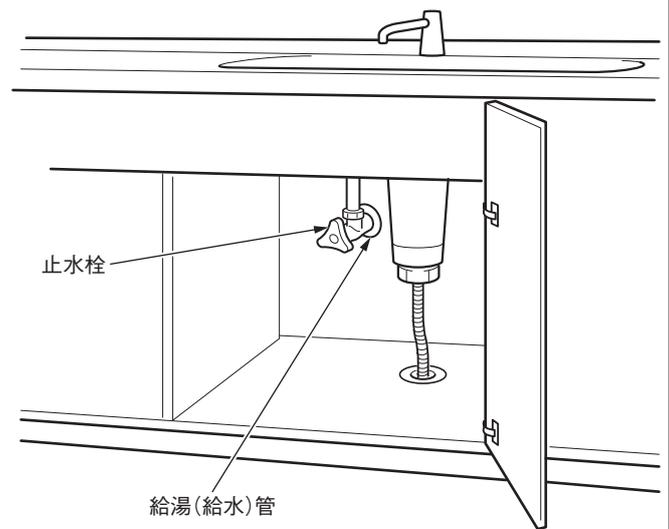
- アングル型止水栓または、ストレート型止水栓（ハンドル式固定ゴマタイプ）を必ず取り付けてください。（図10）



（図10）

2 給湯（給水）の確認

- シンク下または点検口の内部に給湯（給水）管および止水栓があるかご確認ください。
- ※給湯（給水）管が壁の中にあるときは、給湯（給水）管から分岐はできません。

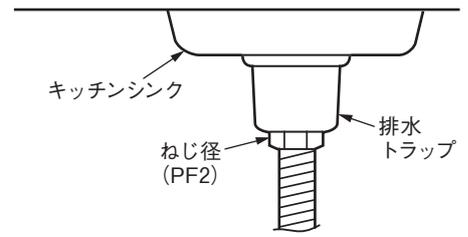


（図11）

3 排水の確認

一戸建て住宅などでシンクの排水ホースが蛇腹の場合

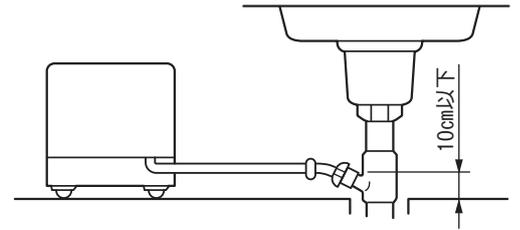
- 一戸建ての場合は、付属品のY管排水ホースが取り付けられるか、ご確認ください。ねじ径はPF2です。
(排水トラップのねじ外径は約φ60です。)
- ※ねじ径がPF1 ½(ねじ外径がφ50)の場合は、別売の異径ソケットが必要です。
(P.15の「排水管の工事例」を参照してください。)



(図12)

集合住宅などでシンクの排水が直管配管の場合

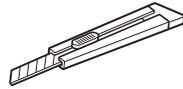
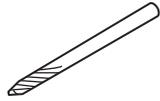
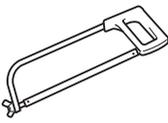
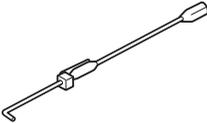
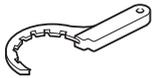
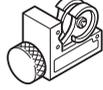
- 集合住宅の場合は、排水ホースの接続高さが設置面より10cm以下になることを、ご確認ください。
- ※排水管がVP50の場合は、別売の排水分岐管が必要になることがあります。
(P.15の「排水管の工事例」を参照してください。)



(図13)

7 設置

使用する工具例

① ⊕ドライバー ⊖ドライバー  ● 蝶番をはずすのに使用	② カッターナイフ  ● 防虫パッキン切断用 ● 排水ホースの切断用 ● 上部フィルター切断用	③ 大型モンキー  ● 分岐水栓取り付け用 ● 給湯(水)ホース接続用	④ ⊕ドライバー 先の細いもの  ● 上部フィルター取り付け用	⑤ 電気ドリル (φ10用)  ● 穴あけ用	⑥ φ10キリ  ● 電源コード穴あけ用
⑦ 金ノコ  ● 戸当りの切断用	⑧ 止水栓キー  ● 止水栓開閉用	⑨ トラップ締め付け金具  ● トラップ着脱用	⑩ ビニール面取器  ● 塩ビ管面取用	⑪ 銅管カッター  ● 配管切断用	

1 扉の取りはずし

- ◎ 扉は蝶番（ヒンジ）も一緒にはずします。
- ◎ 包丁差しなどははずして他の扉に付けます。
- ※ 扉の加工は、商品をキッチンにセットし、再チェックしてから行ってください。

2 給湯（給水）の分岐

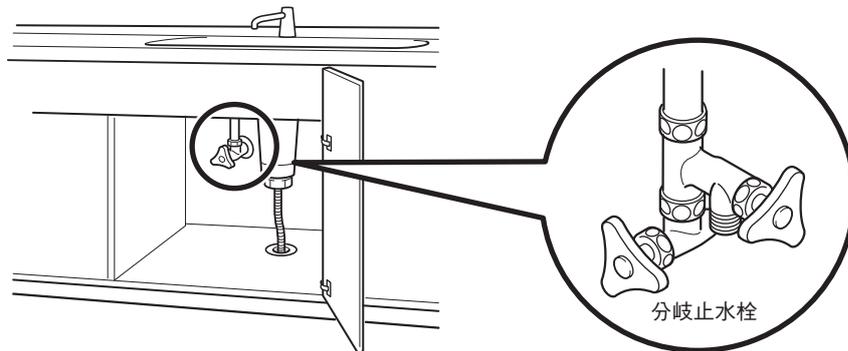
- ◎ シンク下または点検口の内部内の止水栓を閉めます。
- ※ シンク下または点検口の内部に止水栓がない場合は、給湯（給水）管を途中で分岐し、シンク下に専用の止水栓を設けてください。

⚠ 注意

■ シングルレバーの湯水混合水栓の場合、湯・水双方の止水栓を閉じる
 分岐配管中に誤ってレバーを操作されると、湯の管路より水が出る場合があります。



- ◎ シンク下または点検口の内部に設置されている水栓接続部を分離し、同梱の分岐止水栓を取り付けます。



(図14)

※ ナットは必要以上に強く締め付けますと、パッキンが破れますのでご注意ください。ナットは手で軽く締め込んだ後、半回転ぐらい締め付けてください。適性締め付けトルクは 5～10Nm (50～100kgf/cm) です。

3 底補強板の取り付け

シンク下左側に本機を設置する場合

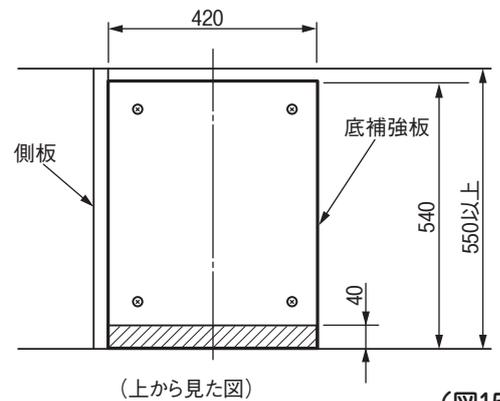
- 底補強板の前面と左側面を、シンクキャビネットの前面と側板に合わせます。
- コーススレッドねじ（3.8×32：4本）を図の斜線部分を選けた位置に取り付けて、底補強板とシンクキャビネットを固定します。

シンク下右側に本機を設置する場合

- 底補強板の前面と右側面を、シンクキャビネットの前面と側板に合わせます。
- コーススレッドねじ（3.8×32：4本）を図の斜線部分を選けた位置に取り付けて、底補強板とシンクキャビネットを固定します。

※コーススレッドねじは、必ず斜線部分を選けた位置に取り付けてください。食洗機を設置する時に、脚が固定ねじに引っかかります。

※シンクキャビネットの底板が底補強板の固定に耐えられないと考えられる場合は、補強板を取り付ける前に、別途補強工事を行ってください。

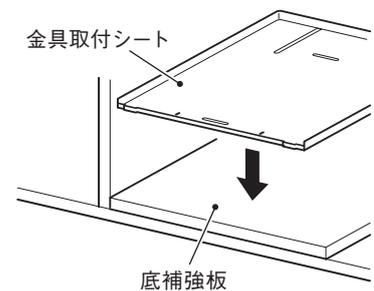


(図15)

※図はシンク下左側に設置する場合。右側に設置する場合は、側板の位置のみ反対となります。

4 金具取付シートの取り付け

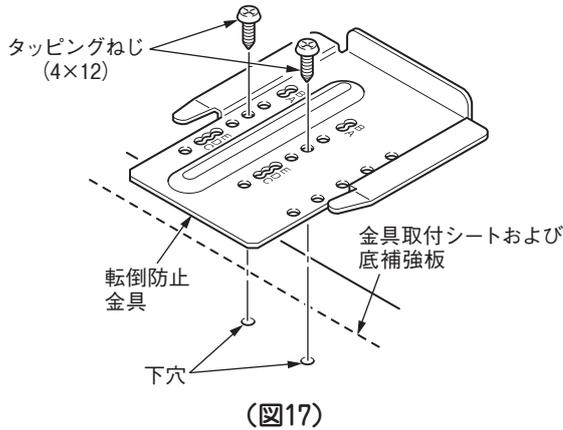
- 金具取付シート（同梱）の裏面の両面テープの離型紙をはがしてください。
- 金具取付シートに記載されている説明に従って、金具取付シートを底補強板に取り付けてください。



(図16)

5 転倒防止金具の取り付け

- 付属品は、本体の中に同梱されています。
- 転倒防止金具（同梱）を金具取付シート（同梱）に記載されている説明に従って2本のタッピングねじ（4×12）（同梱）で金具取付シートおよび底補強板に取り付けてください。



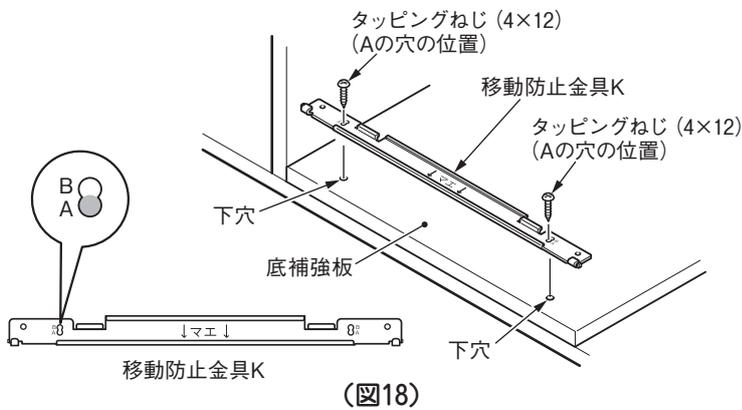
⚠注意

- 電動ドライバーは使用しないで手締めする
ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



6 移動防止金具の取り付け

- 移動防止金具K（同梱）を金具取付シート（同梱）に記載されている説明に従って、Aの穴の位置に2本のタッピングねじ（4×12）（同梱）で金具取付シートおよび底補強板に取り付けてください。

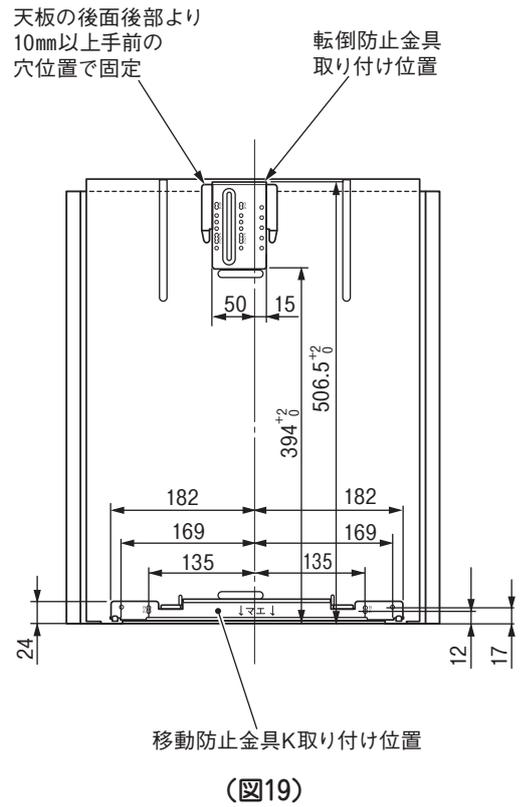


⚠注意

- 電動ドライバーは使用しないで手締めする
ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



※転倒防止金具および移動防止金具Kの
取り付け位置



⚠注意

- 移動防止金具と転倒防止金具は、必ず所定の位置に取り付ける

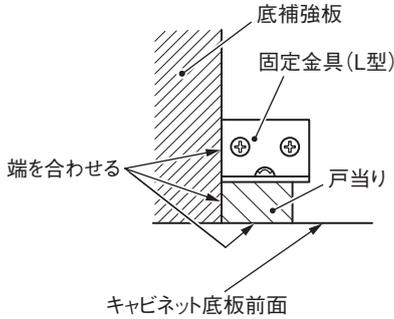
本体が移動して水漏れが起きるおそれがあります。



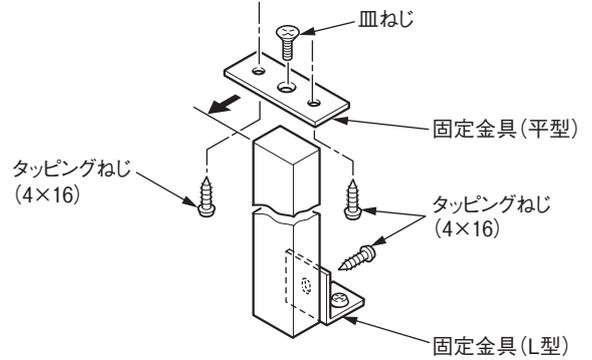
7 戸当りの取り付け

●扉を受ける側板がない場合は、戸当り（付属品）を取り付けます。

- ①キッチン幕板の下面から底面までの寸法を測り、この寸法より2.5mm小さい寸法で戸当りを切断してください。（図23）
- ②戸当りに固定金具（平型・L型）を取り付けます。平型の金具は、戸当りの天面の前側に寄せて中心に付属の皿ねじ（4×16）で取り付けます。L型は、戸当りの後面に器具側の端面を合わせて、付属のタッピングねじ（4×16）で取り付けます。（図20、21）



(図20)

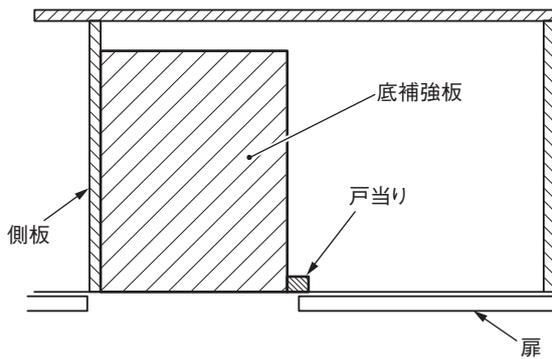


(固定金具取り付け図)

(図21)

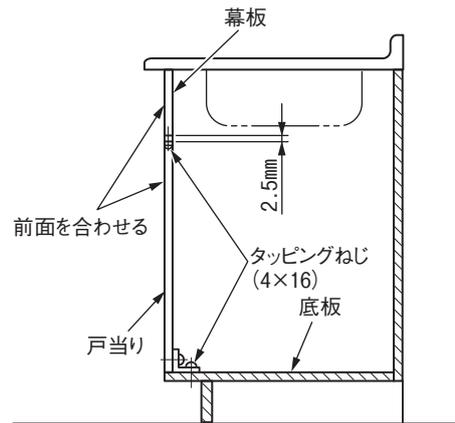
- ③戸当りの前後方向の位置は、上部の幕板と下部の底板の面に合わせてください。（図22）

※戸当りの下部の固定で底板がステンレス板のときは、くぎなどで下穴をあけてから作業を行ってください。



(上から見た図)

(図22)

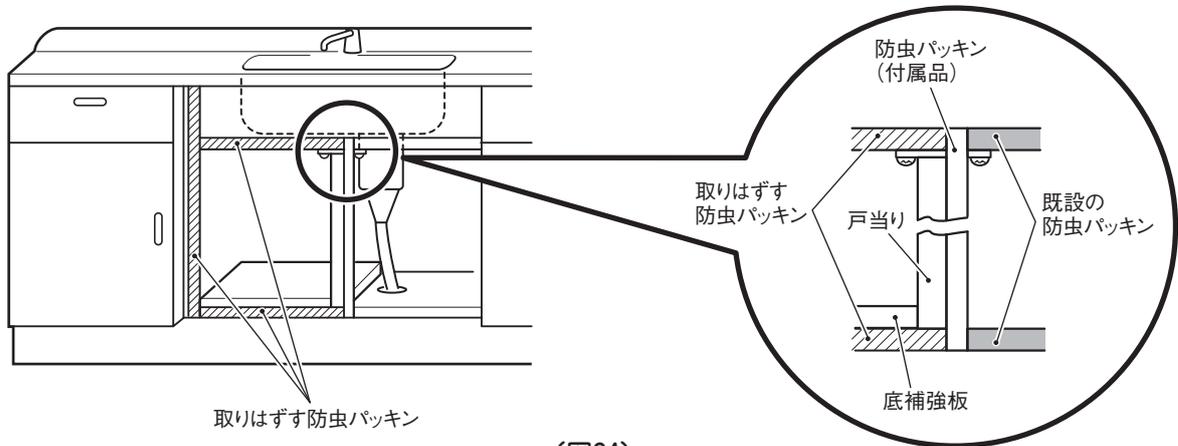


(断面図)

(図23)

8 戸当りパッキンの取り付け

- ①食器洗い乾燥機を設置する側のシンクキャビネットに防虫パッキンが取り付けられている場合は、図の斜線部分のみ取りはずします。



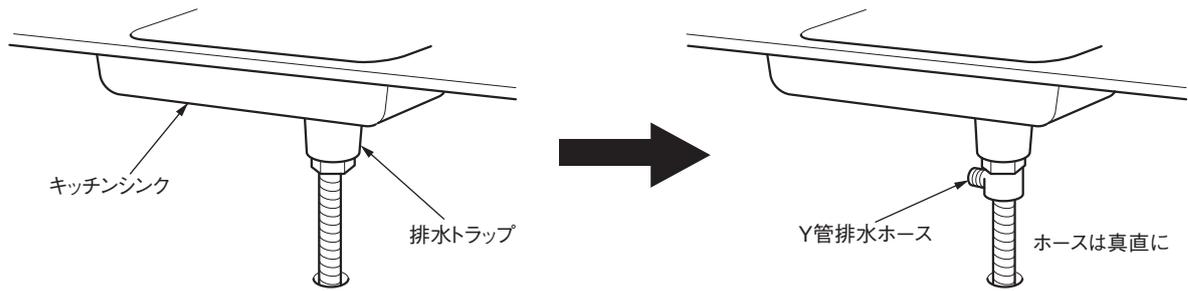
(図24)

- ②既設の防虫パッキン取り付け位置に合わせて、付属の防虫パッキン高さを決定してください。
- ③防虫パッキンを戸当りの前面、扉側（シンクトラップ側）に寄せて取り付けます。

一戸建て住宅などでシンクの排水ホースが蛇腹の場合

排水トラップのねじ径がPF2（2インチ）の場合

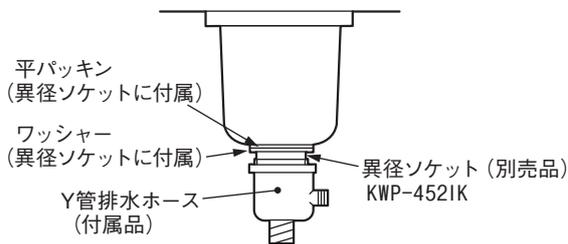
- 付属品のY管排水ホースを使用します。



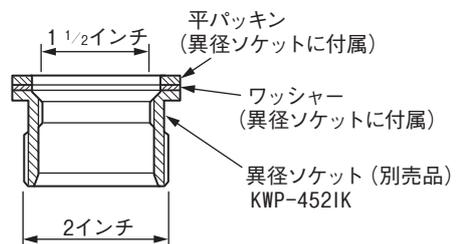
(図25)

排水トラップのねじ径がPF1½（1½インチ）の場合

- 別売品の異径ソケットを使用し、付属品のY管排水ホースを取り付けます。



(図26)



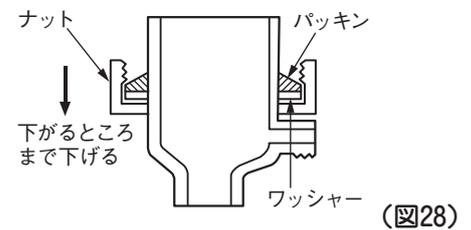
(図27)

※異径ソケットを使用する場合は必ず異径ソケットに付属の平パッキン・ワッシャーをご使用ください。

Y管排水ホースの取り付け方

- Y管排水ホースのパッキン・ワッシャーおよびナットを下がるところまで下げてセットしてください。

※相手部品との挿入寸法が短いと、Y管排水ホースが抜けることがあります。



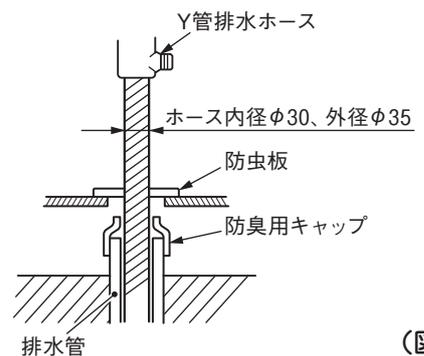
(図28)

防臭・防虫について

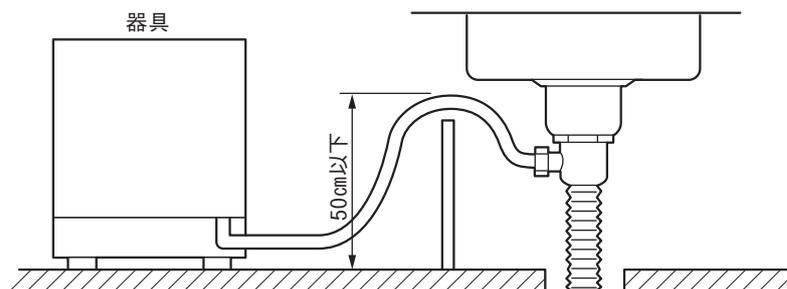
- Y管排水ホースを使用することにより既設の防臭・防虫板が使用できない場合は、市販の防臭用キャップ・防虫板を使用してください。

排水ホースの立ち上げ高さについて

- 排水ホースを途中で立ち上げる場合、設置面より50cm以下にしてください。



(図29)

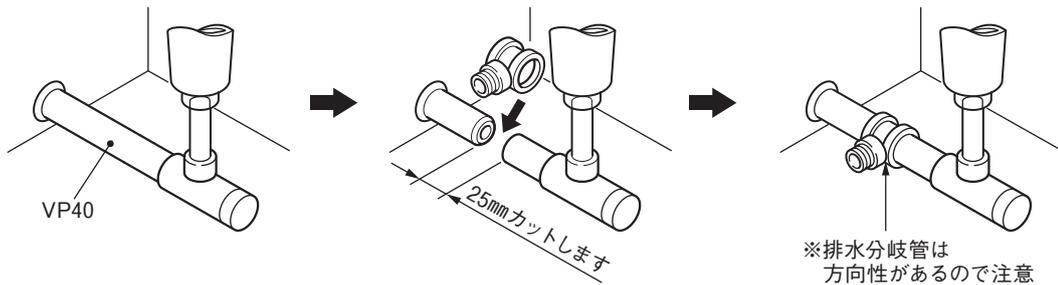


(図30)

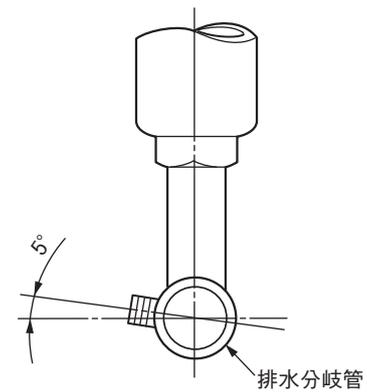
集合住宅などでシンクの排水が直管配管の場合

シンクの排水管が背抜き配管になっている場合

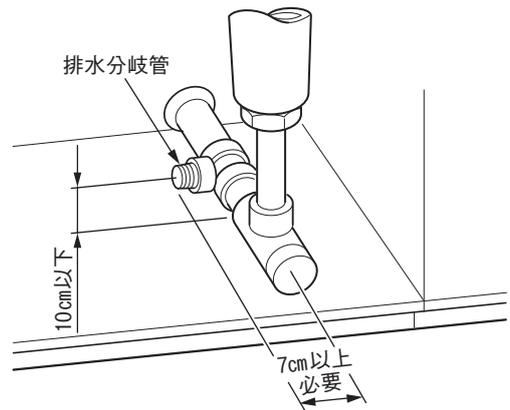
- 排水分岐管（付属品：VP40用）を使用してください。



(図31)



(図32)



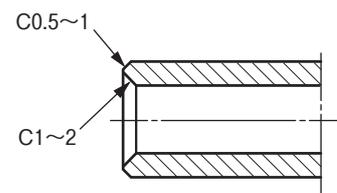
(図33)

⚠注意

■排水配管と排水ホースの接続部の立ち上げ高さは、製品の設置面より10cm 以下になるように取り付ける



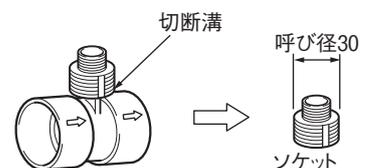
- 配管用接着剤は、耐熱用を使用してください。
- 排水管の端面内周に、面取り（C1~2）を施してください。外径外面側は面取り（C0.5~1）をつけると排水分岐管の挿入が容易になります。（図34）



(図34)

※配管に VP50が使用されている場合は、別売品（KWP-452B）をご使用ください。または、下記手順で排水管の工事をしてください。VP50管の分岐には市販品の排水用硬質塩化ビニル管継手と排水分岐管の一部（ソケット）を利用して分岐します。

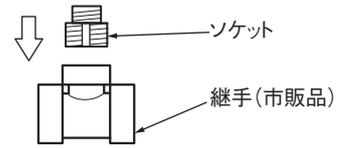
- ①排水分岐管のソケットを切断溝に沿って、管軸に直角に切断します。（図35）



(図35)

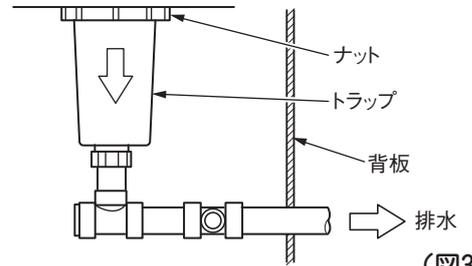
9 排水管の工事例

②ソケットを市販品の排水用硬質塩化ビニル管継手（径違い 90° Y40×30など）に塩ビ管用の耐熱接着剤にて接続します。（図36）



(図36)

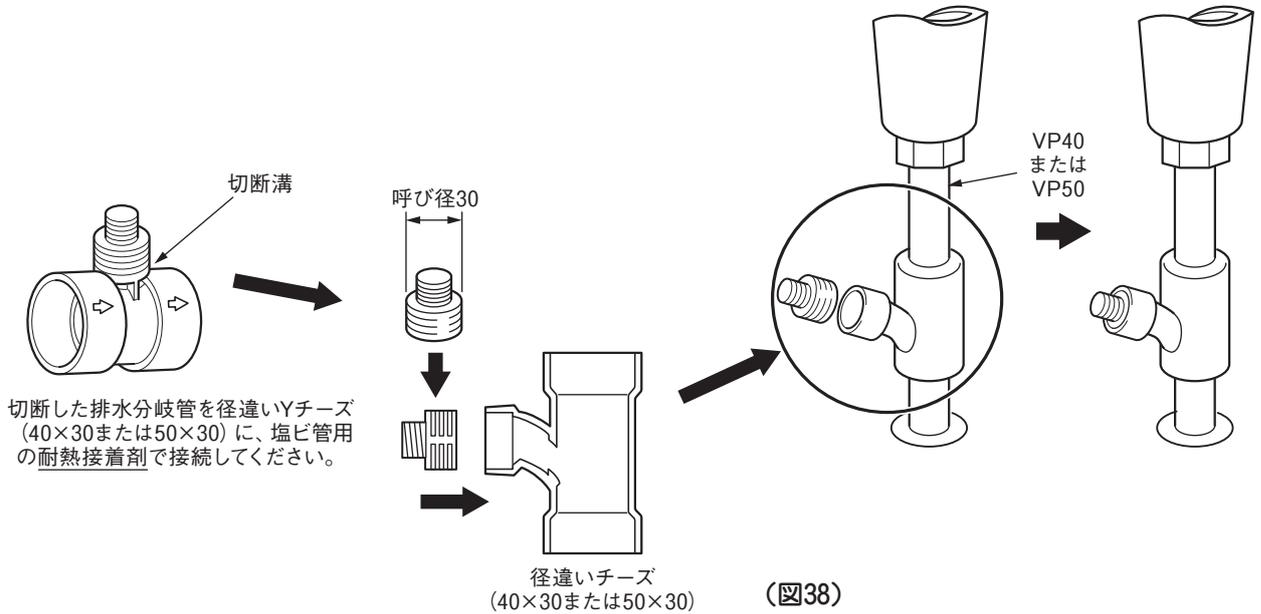
③継手を接続し、接着剤が乾燥したら水を流し、漏水のないことを確認します。（図37）



(図37)

シンクの排水管が床に抜けている場合

●排水分岐管（付属品：VP40用）の切断溝に沿って直角に切断してください。

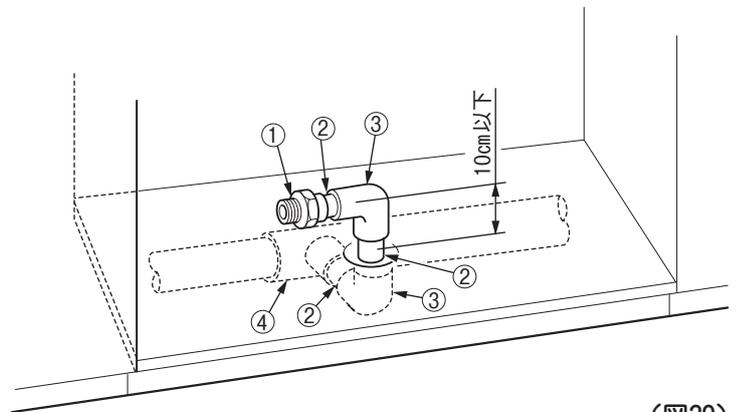


(図38)

独立排水管を設ける場合

別途調達

- ①バルブ用ソケット（20×3/4）
 - ②HT20相当品
 - ③エルボ
 - ④径違いエルボ（20×40または20×50）
- ※④径違いエルボは配管の太さに合わせてお選びください。



(図39)

10 スペーサーの張り付け

①下記手順に従ってスペーサー（同梱）の厚みを決定してください。

a：側板の厚さ t が15mm の場合

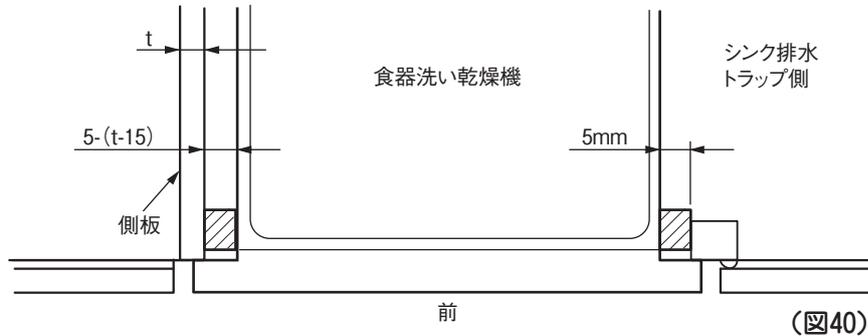
5 mm のスペーサーを 2 個使用します。

b：側板の厚さ t が15mm より大きく18mm 以下の場合

●シンク排水トラップ側には、5 mm のスペーサーを使用します。

●反対側には、5 mm のスペーサーを $5 - (t - 15)$ の厚みにスライスして使用します。

（例）側板厚み t が18mm のとき図の左側のスペーサー厚みは $5 - (18 - 15) = 2$ mm

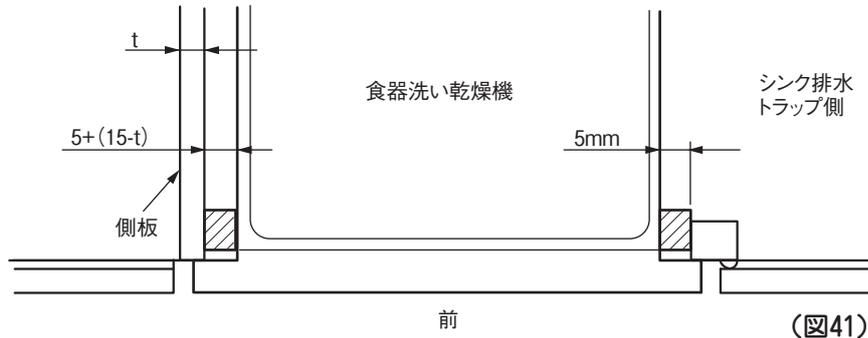


c：側板の厚さ t が15mm より小さい場合

●シンク排水トラップ側には、5 mm のスペーサーを使用します。

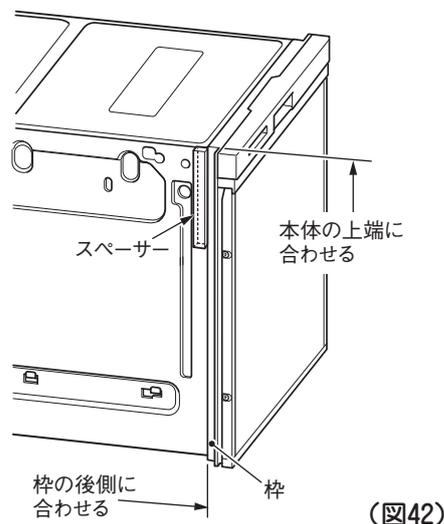
●反対側には、20mm のスペーサーを $5 + (15 - t)$ の厚みにスライスして使用します。

（例）側板厚み t が13mm のとき図の左側のスペーサー厚みは $5 + (15 - 13) = 7$ mm



②本体が横方向に移動するのを防止するため、スペーサー（同梱）を本体の外側に張り付けてください。

●設置例は全て食洗機設置面がシンク下左側の場合で説明していますが、シンク下右側設置の場合は右側板の厚さを基準に逆の手順で実施してください。



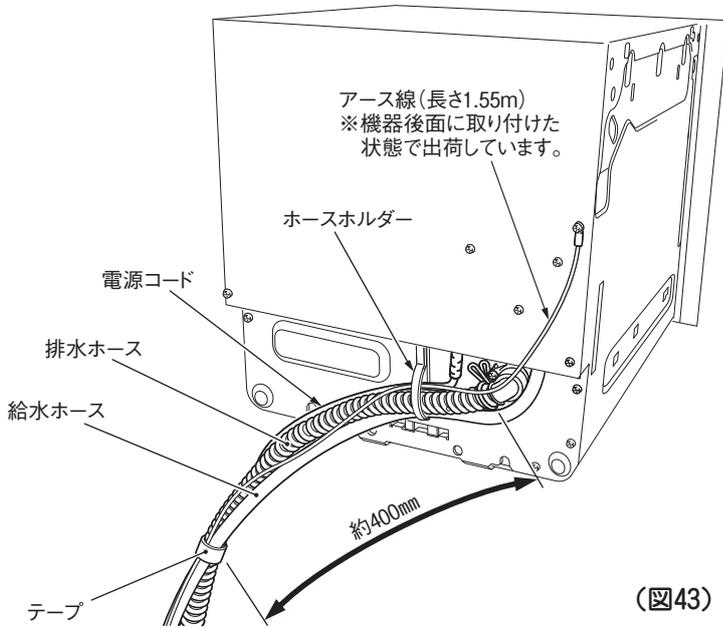
食器洗い乾燥機の右側で配管接続する場合

● 本体後面の給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を下図のようにテープで結束してください。

お願い

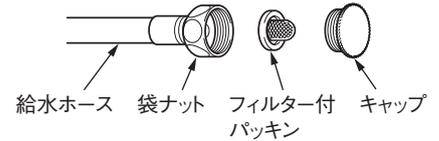
● 本体をキャビネットにビルトインする時に電源コード、アース線、ホース類が転倒防止金具にかみ込まないようにするためです。また、作業も容易になります。必ず行ってください。

※ホースホルダーは取りはずさないでください。



(図43)

※フィルター付パッキンが、給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っていますのでなくさないでください。



⚠注意

■ 給水ホース、排水ホースの上
に本体を載せない

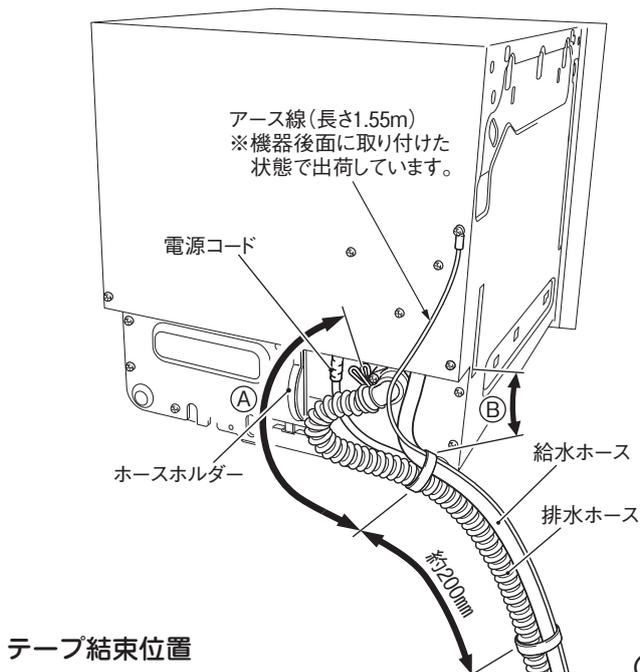


給水ホース、排水ホースが破損し、水漏れの原因になります。

食器洗い乾燥機の左側で配管接続する場合

① 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線をホースホルダーから取りはずします。

② 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を下図のようにテープで結束してください。(2カ所)

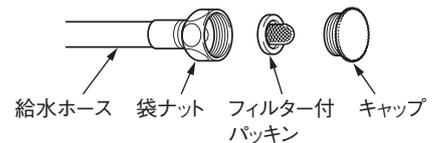


(図44)

テープ結束位置

①排水ホース	②給水ホース
約230mm	約100mm

※フィルター付パッキンが、給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っていますのでなくさないでください。



⚠注意

■ 給水ホース、排水ホースの上
に本体を載せない



給水ホース、排水ホースが破損し、水漏れの原因になります。

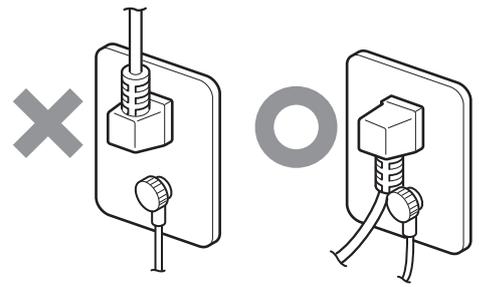
12 電源コード・アース線の接続

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ②アース線をアースターミナルに接続してください。

⚠注意

■電源プラグはコードが下方向に出るようコンセントに差し込む 

コードが上方向に出ますと、機器をビルトインしたとき、コードが傷つくことがあります。



(図45)

⚠警告

■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく 

火災の原因になります。

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 

感電やショートして発火することがあります。

■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 

感電・ショート・発火の原因になります。

■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 

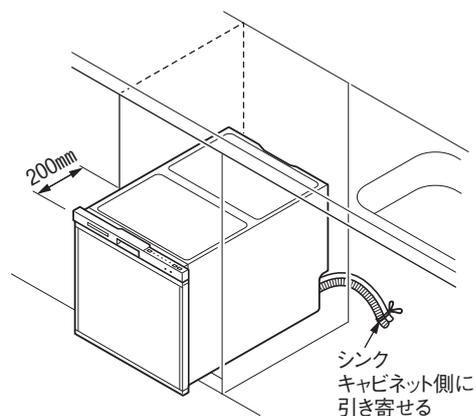
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

13 本体のビルトイン

①本体を収納キャビネットの上をすべらしながら押し込んでください。約200mmぐらい押し込みを残した位置で給水ホースと排水ホース、電源コード、アース線を引き寄せてください。(図46)

お願い

- ドアや前枠を持たず、必ず本体下面の両端を手で支えてください。
- ※本体下面の中央部を支えると、本体下面が変形し（上に反り）、ドアを引き出す際に、水槽下面と本体下面が干渉するおそれがあります。

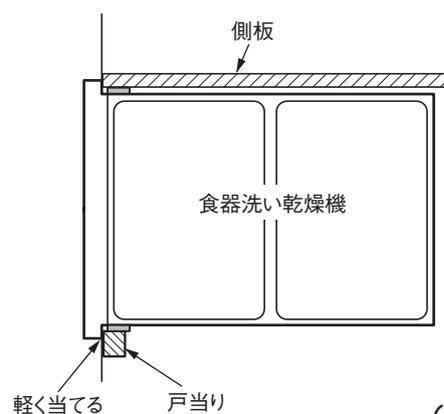


(図46)

②本体前面（左右）の飾り枠が収納キャビネットの側板の前面木口と戸当り前面に当たるまで本体を押し込んでください。(図47)

③本体を規定位置まで押し込みましたら、後部の給水ホース、排水ホース、電源コードなどで金具取付シートが変形していないか、鏡などを使用して確認してください。

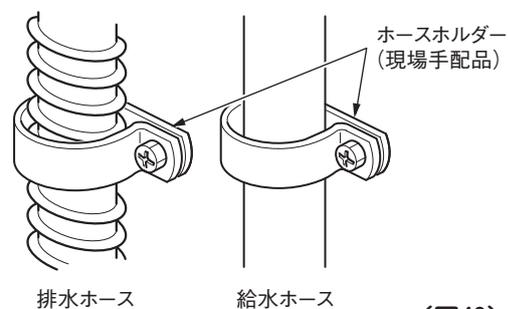
④左右の扉を開閉して、扉を開けたときに食器洗い乾燥機に干渉しないか確認してください。干渉する場合はスペーサーを使用して、左右方向の設置位置を調整してください。



(図47)

お願い

- 隣接する機器などに注意して本体中央をゆっくり押ししてください。また、シンクキャビネット側の収納部と給・排水ホースが干渉する場合は、ホースホルダー（現場手配品）などを使用して固定してください。(図48)



(図48)

※給水ホースの曲げ半径は、50mm（外）以上になるよう引き回してください。

注意

■水槽を開いて本体の出し入れをしない

水シール部が変動して水漏れが起きるおそれがあります。

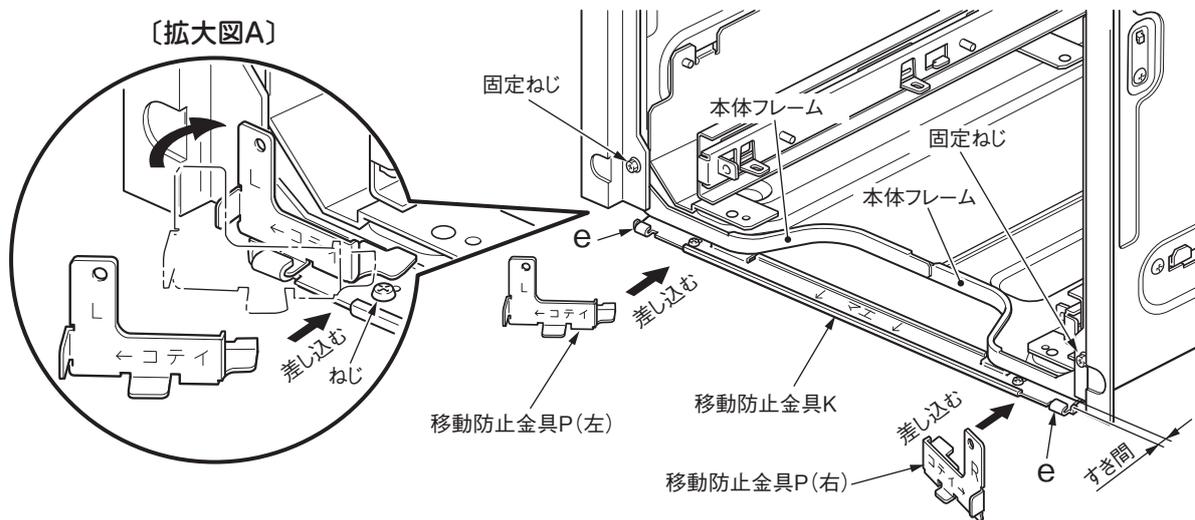


■給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない

給・排水不良の原因になります。

14 移動防止金具の取り付け

- ① ドアを少し引き出して本体手前（左右）下側の固定ねじを取りはずしてください。（④で再び使用します）
 - ② 移動防止金具Pを本体と移動防止金具Kの間に差し込んでください。（拡大図A）このときに、移動防止金具Pの先端とねじが干渉しないように少し傾けながら差し込むと作業が容易になります。
- ※移動防止金具Kの両端部eと本体フレームの間にすき間があるように、本体をきちんとキャビネットに納めてください。
- ※図49、50、51は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。

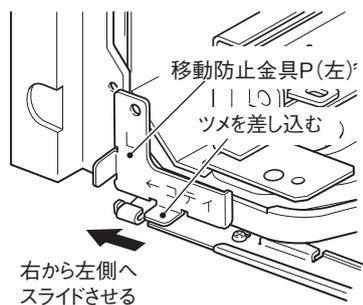


(図49)

- ③ 移動防止金具P（左）を右から左側へスライドさせて、ツメを差し込んでください。（図50）
- ※本体が収納キャビネットの奥までセットされていないと金具が取り付けにくくなります。奥まで本体をセットしてから作業をしてください。
- ④ 移動防止金具Pを①で取りはずした固定ねじで枠に固定してください。
 - ⑤ 移動防止金具P（右）も同様の手順で取り付けてください。

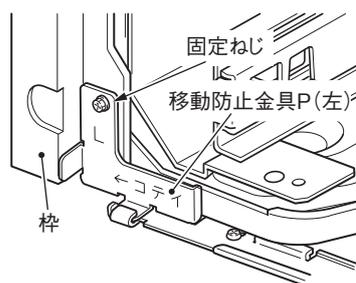
お願い

- 必ず移動防止金具の取り付け作業を実施してください。
- ※作業をしないとドアの開閉により本体が手前に移動して収納キャビネットから落下するおそれがあります。また、無理に取り付けると、異音の原因や枠が変形してドアが完全に閉まらないことがあります。



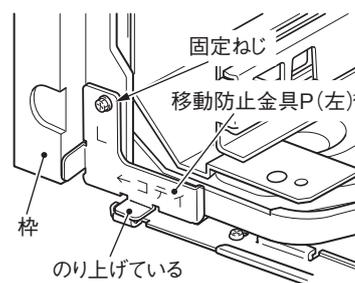
(図50)

(正しいセット図)



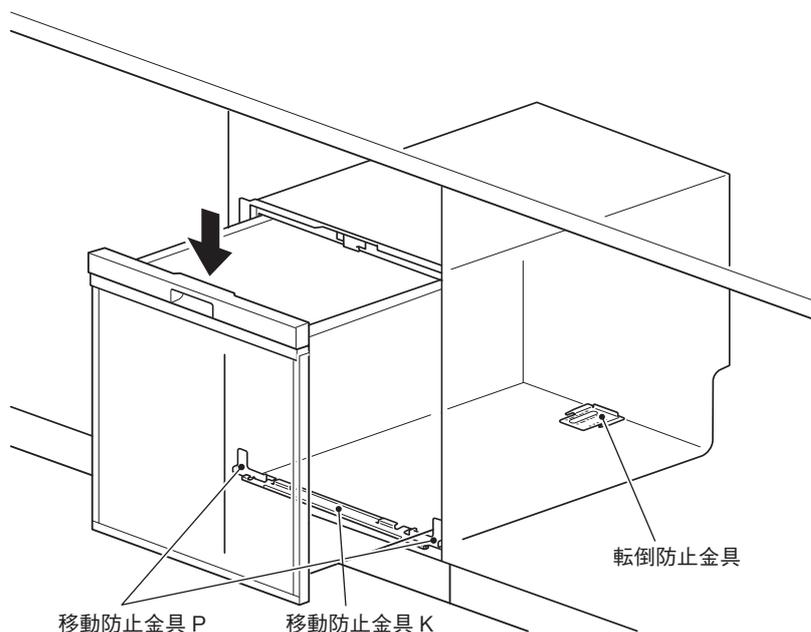
(図51)

(悪いセット図)



15 転倒防止金具・移動防止金具の確認

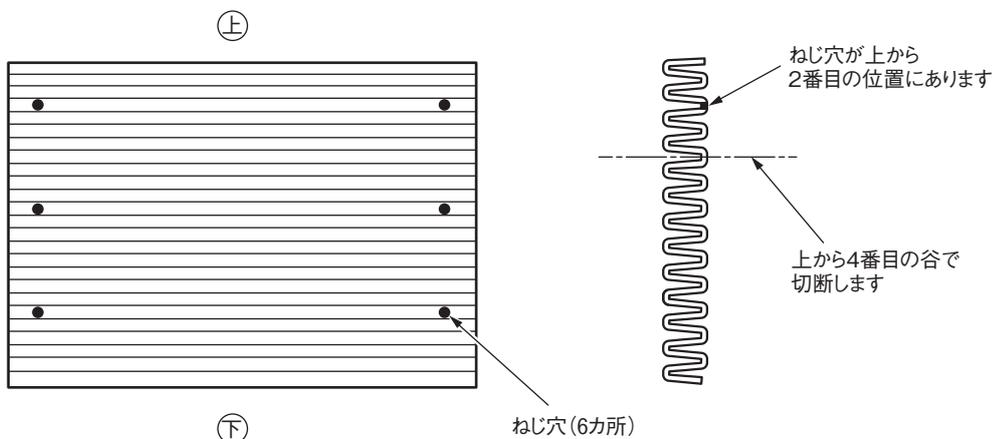
- ① ドアを引き出して、移動防止金具 K と移動防止金具 P (左右) が正しく取り付けられているか確認してください。
 ※ 手前に本体がずれて出てくる場合は、移動防止金具が正しく取り付けられていません。
- ② 本体手前を下に押し付け、奥側が収納キャビネットから浮き上がらないことを確認してください。(図50)
 ※ 浮き上がる場合は、転倒防止金具が正しく取り付けられていません。



(図50)

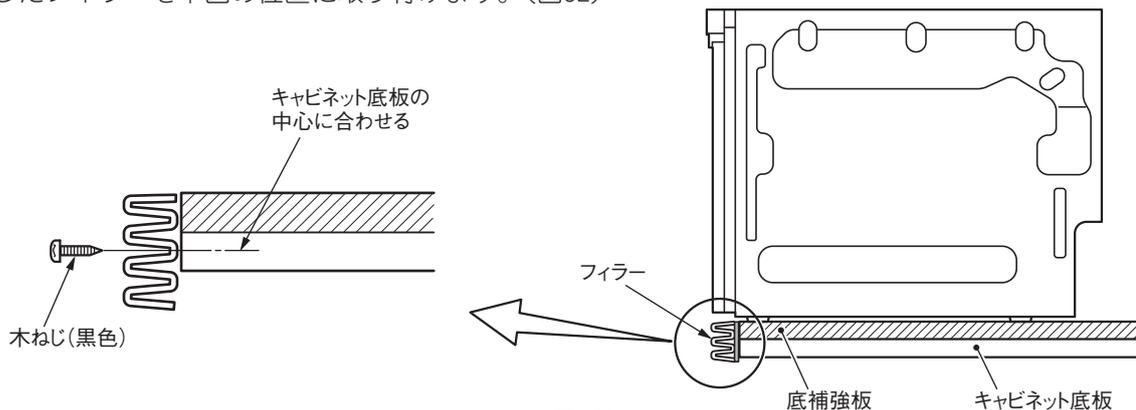
16 フィラーの取り付け

- ① フィラー (付属品) を下図の位置で切断します。(図51)



(図51)

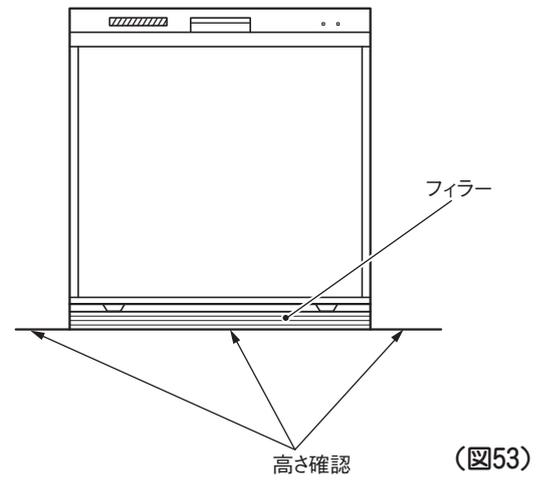
- ※ 上下方向は、ねじ穴の位置で確認してください。
- ② 切断したフィラーを下図の位置に取り付けます。(図52)



(図52)

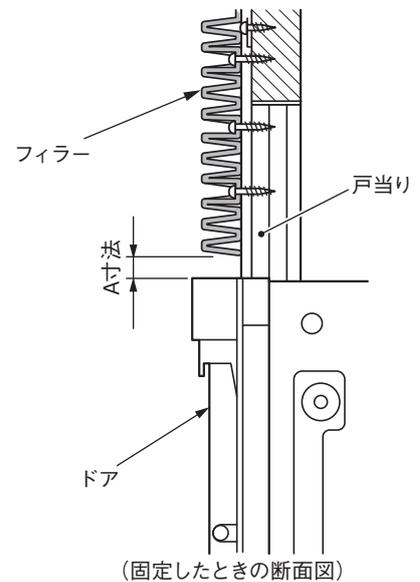
16 フィラーの取り付け

③左右の扉とフィラーの下位置がそろっているか確認します。(図53)



※フィラーの高さが低すぎる場合は、下から一段目を切断してください。

④ドアとフィラーとのすき間が(A寸法) 5mm程度になるように合わせ、左右のすき間が均等になるようにセンターを合わせて、付属の木ねじ(黒色)で固定します。(図54)



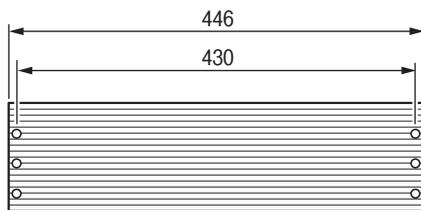
(固定したときの断面図)

(図54)

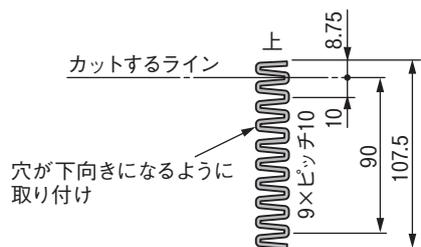
⑤フィラーが上下方向に長い場合は、上の方から切って使用することもできます。(約10mmピッチで切れます。)

(図56)

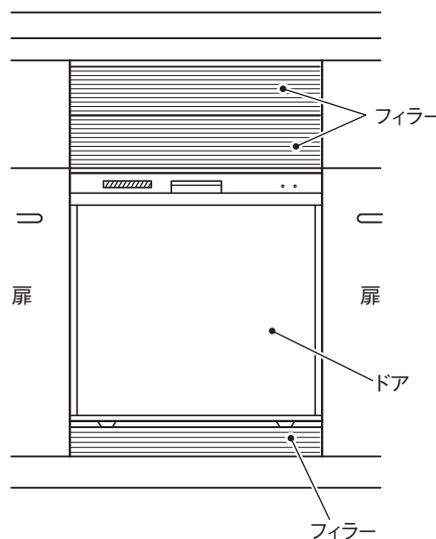
⑥フィラーの取り付け時に、奥行きが左右で異なる場合は、付属のスペーサー(5mmまたは20mmを適当な高さにカットした物)を貼付し、前後の位置を合わせてください。(図58)



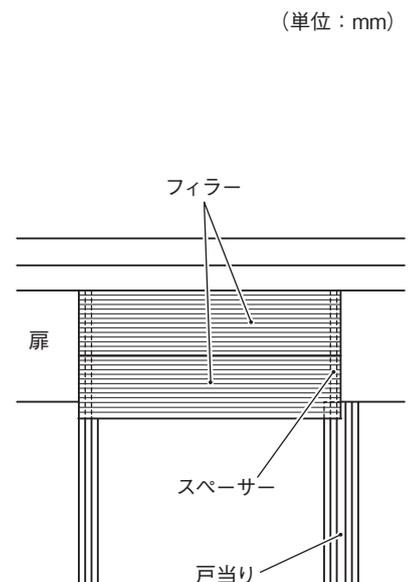
(図55)



(図56)



(図57)



(図58)

(単位: mm)

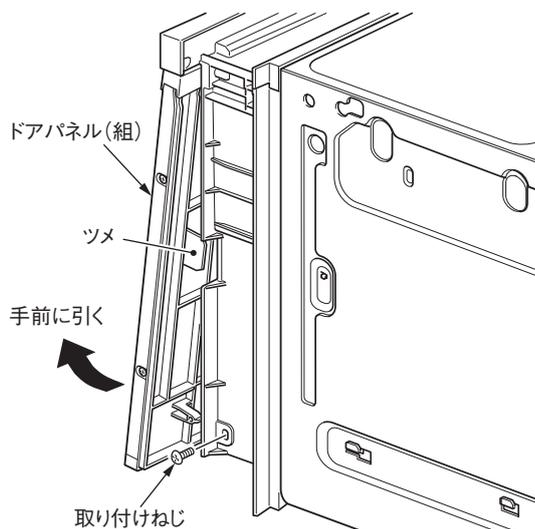
※フィラーには上下がありますので注意して取り付けてください。

17 化粧パネルの取り付け

①ドアを少し引き出し、左右下部の取り付けねじ（各1本）をはずしてください。

ドアパネル左右のツメを外側へ軽く開き手前に引くと、ドアパネル（組）がはずれます。（図59）

※ツメを外側へ開きすぎると、破損するおそれがあります。



(図59)

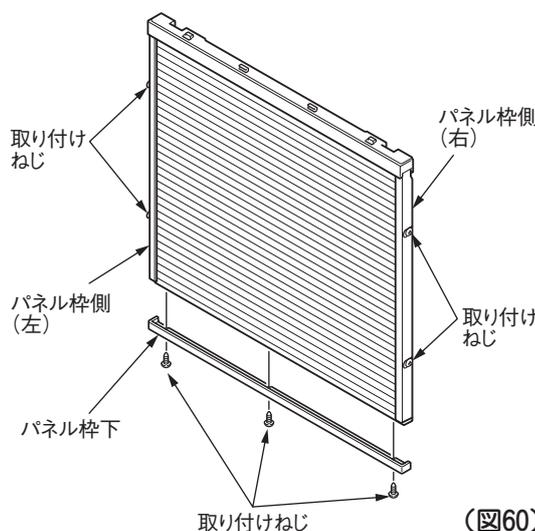
②パネル枠下の取り付けねじ（3本）をはずしてパネル枠下をはずしてください。（図60）

⚠注意

■先にパネル枠（左右）を無理にはずさない

⊘

破損の原因になります。



(図60)

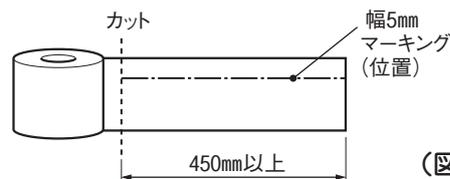
③パネル枠側（左右）取り付けねじ（各2本）をはずしてパネル枠側（左右）をはずしてください。（図60）

④化粧パネルの防水処理を下記の方法で必ず実施してください。

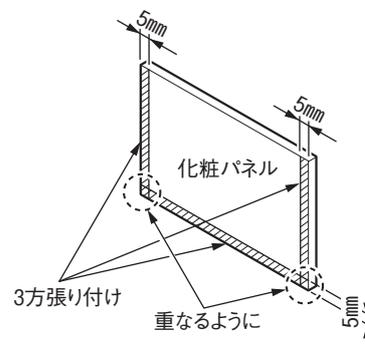
(1)幅50mmの離型紙付アルミ粘着テープ（現地調達品）を準備してください。

(2)450mm以上で少し長めにカット（3枚用意してください）した後、硬めのシャープペンシルなどで幅5mmの位置にマーキングしてください。（図61）

(3)アルミ粘着テープの離型紙をはがし、マーキング跡にパネル表面側（化粧面）下端を合わせてセットし張り付け、（幅5mmを表面側に張り付ける）あまりはそのまま木口面、裏面側へと張り付けてください。化粧パネルからハミ出た部分は切り取ってください。（図62）



(図61)



(図62)

お願い

- アルミ粘着テープの表面側は、5mm幅を必ずお守りください。
- アルミ粘着テープを張り付ける際は、シワのないように張り付けてください。
- (4)同様に左右2カ所も行ってください。このとき下端と重なる角は、アルミテープをそのまま重ねて張り付けてください。（図62）

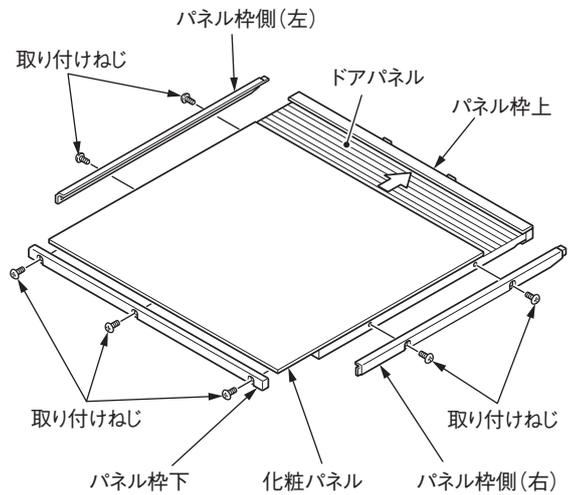
17 化粧パネルの取り付け

- ⑤化粧パネルをパネル枠上のすき間に挿入して、化粧パネルを押し付けながらパネル枠側（左右）を取り付け、取り付けねじ（各2本）で締め付けてください。（図63）
- ⑥パネル枠下を取り付け、取り付けねじ（3本）で締め付けてください。（図63）

⚠注意

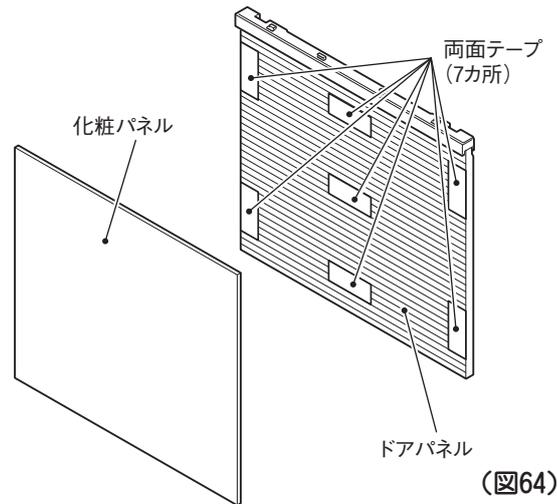
■電動ドライバーは使用しない

パネル枠（樹脂）が変形するおそれがあります。



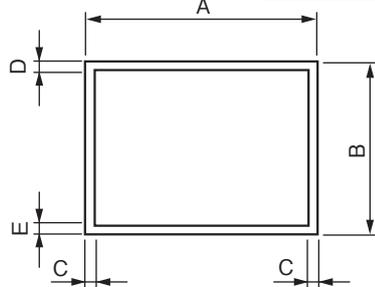
(図63)

※化粧パネルの厚みによっては化粧パネルが浮くことがありますので、両面テープ（現地調達品）でドアパネルに仮付けしてください。（図64）



(図64)

化粧パネルの寸法

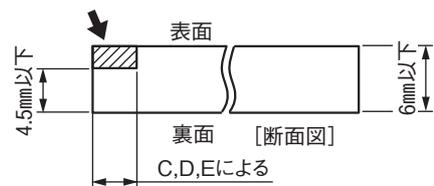


(図65)

(単位：mm)

	寸法
A	433±1
B	392.5±1
C	6.5
D	6.5
E	8.5

厚さ4.5mmを超えるパネルをご使用になる場合は、外周（斜線で指定した部分）の表面を、厚さ4.5mm以下になるようにけがき線を入れ、斜線部を削り取ってください。ただし、6mmを超えるパネルは使用できません。



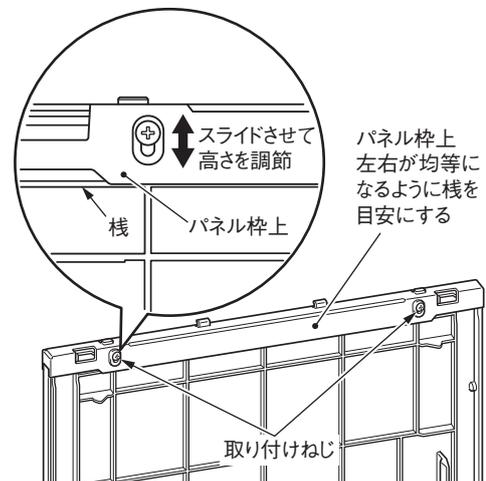
(図66)

⑦はずしたときと逆の手順でドアパネル（組）を取り付けてください。

※ドアパネル（組）を取り付ける際は、ドアパネル（組）を持ち上げながら付属のねじ（）取り付けねじ：2本）で固定し、パネル枠上とのすき間がないか確認します。

※必要に応じてキャビネットとの下側のすき間を約4～8mmの範囲で調節できます。

パネル枠上の取り付けねじ（2本）をゆるめ上下にスライドさせて調節してください。その際、ドアパネルの棧を目安に、パネル枠上が左右均等になるように固定してください。（図67）



(図67)

18 給水（給湯）管との接続

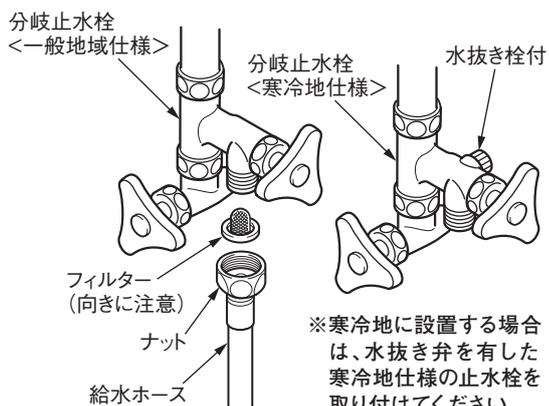
- 分岐止水栓にフィルター付パッキンを入れ給水ホースを確実に締め付けてください。(図68)

お願い

- ナットは手で軽く締めこんだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
- ※適正な締め付けトルクは5～10N・m（50～100kgf・cm）です。

注意

■フィルター付パッキンは必ず所定の位置に取り付ける

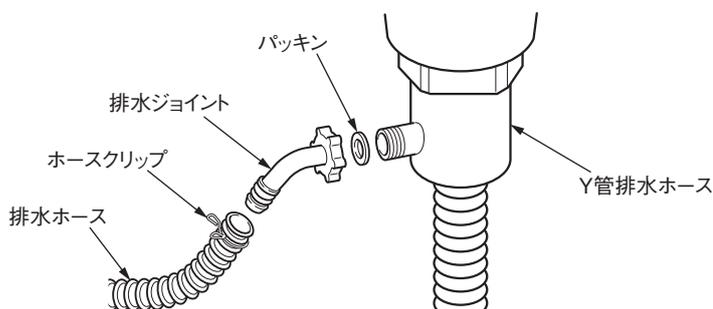


※寒冷地に設置する場合は、水抜き弁を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

(図68)

19 排水管との接続

- 排水ホースに排水ジョイントを差し込んで、ホースクリップで固定します。(図69)



(図69)

- 排水ジョイントにパッキンが付いていることを確認してください。
- 排水ジョイントをY管排水ホースまたは排水分岐管に接続してください。

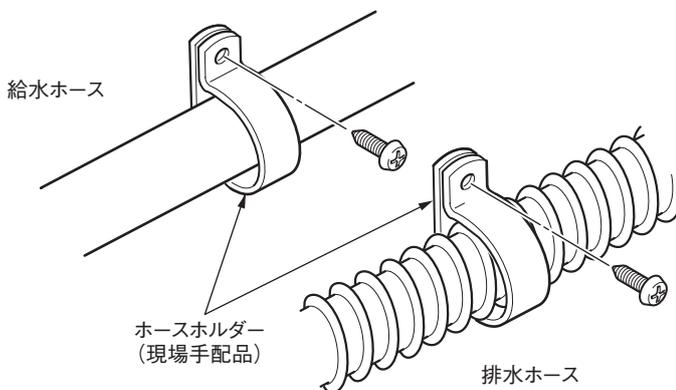
注意

■排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
水漏れ・排水不良の原因になります。



20 給・排水ホースの固定

- 給・排水ホースがたるまないようにホースホルダー（現場手配品）でキッチン背面などに固定してください。(図70)



(図70)

8 設置後の点検

チェックリスト

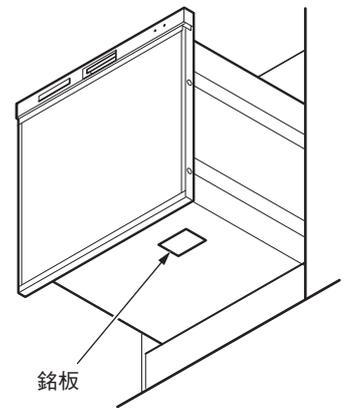
点 検		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器および その周辺	電 源 (電圧)	銘板表示と使用電源が適合していますか。	P7	
	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	P5、P6	
	金 具 取 付 シ ー ト 転 倒 防 止 金 具 移 動 防 止 金 具	金具取付シートおよび転倒防止金具、移動防止金具は取り付けましたか。	P12、 P13、 P22、 P23	
給湯器との接続の場合 排水(給水)・接続	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	P9	
	フィルター付パッキン	給水ホースと止水栓との接続部にフィルター付パッキンを挿入しましたか。	P27	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	P27	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A のアースターミナル付埋め込みコンセントに接続しましたか。	P7、P8	
		アース線を接続しましたか。	P7、P8	

※点検・修理の際には製造番号の確認が必要になることがあります。

製造番号は、銘板またはあんしん点検銘板に表示してあります。

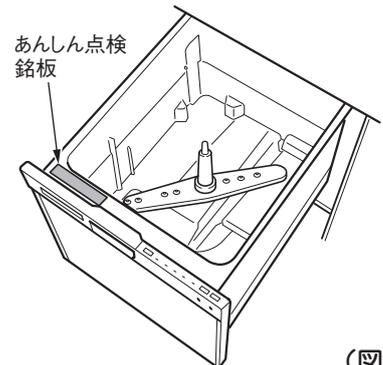
〈銘 板〉

食器洗い乾燥機			
定格電圧	100V		
周波数	50/60Hz		
電動機定格消費電力	65/85W		
ヒータ定格消費電力	800W		
製造番号		PSE	
製造者	リンナイ株式会社		
型式 RKW-□	JQA		
ⓂJ W W A	消防法 基準適合 組込形		
認証登録番号 B-6 RN(O)	可燃物からの離隔距離 (cm)		
	上方	側方	前方 後方



〈あんしん点検銘板〉

品名コード: □□□□	[]
型式 : □□□□	
製造年月 : □年 □月	
製造番号 : □□□□□□□□	



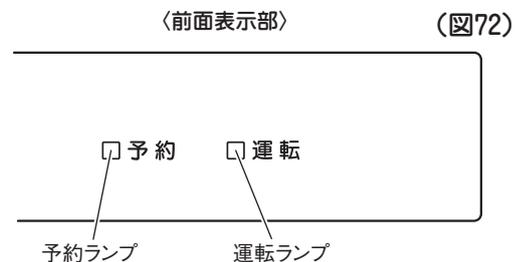
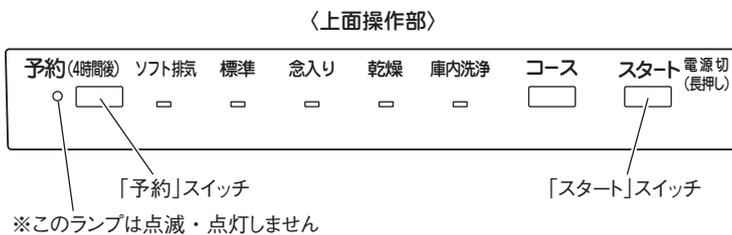
(図71)

9 試運転

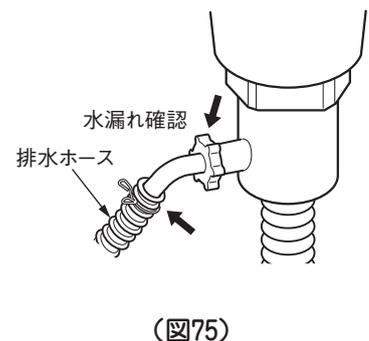
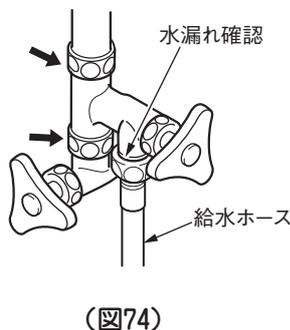
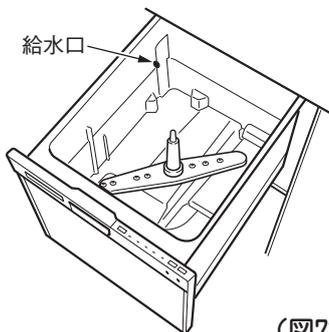
※試運転の前に必ず他の水栓より数リットルの水を流して、配管内のさびなどを流してください。

■次の手順で試運転を行ってください

- ①止水栓を開きます。
- ②食器かごを水槽内から取り出します。
※試運転の時に配管内のさびが食器かごに付着するおそれがあるためです。
- ③ドアを少し開けます。
※ドアを閉めた状態で「スタート」スイッチを押しても、ブザーが「ピピピピッ」と鳴り、操作を受け付けません。
- ④「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。
- ⑤「予約」スイッチを押しながら、「スタート」スイッチを10秒以内に5回押します。(このときブザーが「ピピッ」と鳴り、前面表示部の予約ランプが点滅します。)
- ⑥「スタート」スイッチを押します。(運転ランプが点滅します。) ドアを閉じます。
「試運転」コースが開始し(予約ランプ・運転ランプが点滅から点灯に変わります。)、約10分間で終了します。



- ⑦次の確認を行ってください。
 - 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。(噴射音：バシャバシャ音が聞こえるか確認してください。)
 - ※試運転は、運転が終了するまで確実に行ってください。途中で停止させないでください。
 - ※試運転が20分以上かかる場合は、フィルター付パッキンに異物が付着している可能性があります。フィルター付パッキンをはずして掃除してください。
 - ※運転中に次ページの異常報知が表示された場合は、表示内容に対応した処置を行ってください。



- 運転が終了するとブザーが鳴り、ランプが全て消灯し、電源が「切」の状態になりますので、運転終了を確認後、ドアを開けてください。(水槽内の水が排水されていることを確認してください。また運転中給排水接続部からの水漏れがないことを充分確認してください。)
- 電源が「切」の状態、ドアを開き、水槽内の給水口から水が出ていないことを確認してください。
- ⑧食器かごを元どおりセットしてください。
- ⑨試運転終了後、止水栓を開いたままにしておいてください。また、万が一の水漏れを防止するため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

10 異常報知について

◎ 試運転で前面の運転ランプと予約ランプが交互に点滅してブザーが鳴るときは、下記内容を確認してください。

■ 消灯	点滅 点滅	□ 点灯
---------	----------	---------

上面操作部	原因	処置										
<table border="1"> <tr> <td>予約(4時間後)</td> <td>ソフト排気</td> <td>標準</td> <td>念入り</td> <td>乾燥</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>点滅</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>点滅</td> </tr> </table>	予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥	■	点滅	■	■	点滅	機内の水漏れ 機内で水漏れして、水漏れセンサーが作動したため。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 水漏れのおそれがあります。 ◎ 至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥								
■	点滅	■	■	点滅								
<table border="1"> <tr> <td>予約(4時間後)</td> <td>ソフト排気</td> <td>標準</td> <td>念入り</td> <td>乾燥</td> </tr> <tr> <td>点滅</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>点滅</td> </tr> </table>	予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥	点滅	■	■	■	点滅	試運転の給水中に水漏れ 給水中にオーバーフローし、水漏れセンサーが作動したため。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ◎ 配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥								
点滅	■	■	■	点滅								
<table border="1"> <tr> <td>予約(4時間後)</td> <td>ソフト排気</td> <td>標準</td> <td>念入り</td> <td>乾燥</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>□</td> <td>点滅</td> <td>□</td> <td>点滅</td> </tr> </table>	予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥	■	□	点滅	□	点滅	水位スイッチの動作不良 試運転の洗浄中に水位スイッチの動作に異常があったため。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。（29ページの図73参照）水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ◎ 至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ◎ 配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥								
■	□	点滅	□	点滅								
<table border="1"> <tr> <td>予約(4時間後)</td> <td>ソフト排気</td> <td>標準</td> <td>念入り</td> <td>乾燥</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>■</td> <td>点滅</td> <td>■</td> <td>点滅</td> </tr> </table>	予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥	□	■	点滅	■	点滅	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。 フィルター付パッキンに給湯（給水）管内の異物がつまり、給水ができないため。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 電源を「切」にする。 ◎ 断水の場合は、断水の回復を待って運転する。 ◎ 水道栓（元栓およびキャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ◎ フィルター付パッキンに付着している異物を除去する。
予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥								
□	■	点滅	■	点滅								
<table border="1"> <tr> <td>予約(4時間後)</td> <td>ソフト排気</td> <td>標準</td> <td>念入り</td> <td>乾燥</td> </tr> <tr> <td>点滅</td> <td>点滅</td> <td>点滅</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥	点滅	点滅	点滅	■	■	給水弁止水不良 給水弁に異物がつまり止水できないため。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。（29ページの図73参照）水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ◎ 至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ◎ 配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥								
点滅	点滅	点滅	■	■								
<table border="1"> <tr> <td>予約(4時間後)</td> <td>ソフト排気</td> <td>標準</td> <td>念入り</td> <td>乾燥</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>■</td> <td>点滅</td> <td>点滅</td> <td>点滅</td> </tr> </table>	予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥	■	■	点滅	点滅	点滅	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 電源を「切」にする。 ◎ 排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。（折れぐせがついている場合は直す。）
予約(4時間後)	ソフト排気	標準	念入り	乾燥								
■	■	点滅	点滅	点滅								

※「スタート」スイッチを押さずにドアを閉めると、「ピーピーピー」と鳴ります。その際は「スタート」スイッチを押して、ドアをゆっくりと閉めてください。

11 冷却排水の設定

●排水管が耐熱仕様ではない場合に、冷却排水の設定をしてください。(本管に至るまでの枝管がVP管の場合など)

設定方法

①ドアを少し開けます。

※ドアを閉めた状態で「スタート」スイッチを押しても、ブザーが「ピピピピピッ」と鳴り、操作を受け付けません。

②「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。

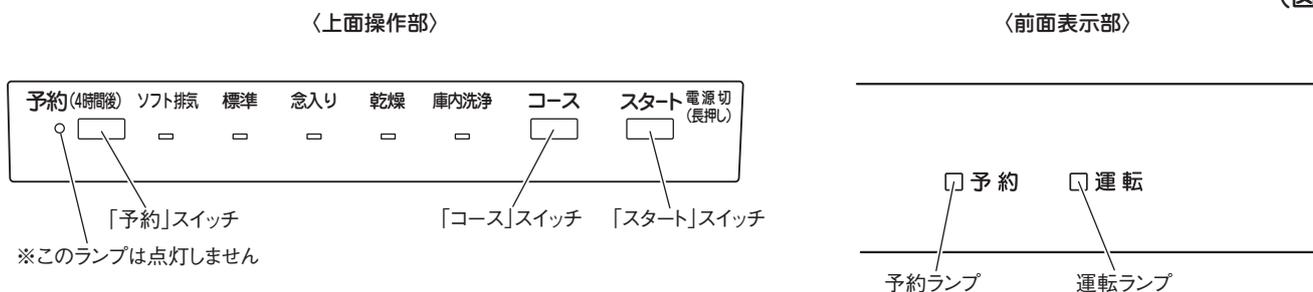
③「コース」スイッチを押しながら、「スタート」スイッチを10秒以内に5回押します。(このときブザーが「ピピッ」と鳴ります。)

④「予約」スイッチを5秒間押しつづけます。(このときブザーが「ピピピピピッ」と鳴ります。)

⑤上記の設定が完了すると、前面表示部の予約ランプが点灯します。(設定なしの場合は、消灯)

⑥「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にします。

(図76)



※工場出荷時の設定は、冷却排水なしになっております。

設定を変更するには、上記作業を再度行います。

(このときブザーが「ピピッ」と鳴り、予約ランプが消灯します。)

■設置事業者様へ

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って、「保証・サービス」について説明してください。

お客様への取り扱い説明

- 取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。

冷水の排水行程の設定方法

- ①給湯配管をした場合は、給湯器のメリットを出すために冷水の排水行程を設定していただくことをお客様へおすすめしてください。

冷水の排水行程：最初から最適な給湯温度でお湯を供給し、短時間で食器の洗浄を行うため、配管中にたまった冷たい水を排水する行程です。

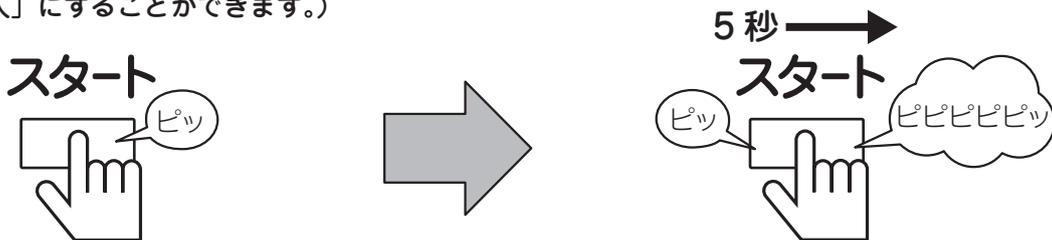
設定方法

- i) ドアを少し開けます。

※ドアを閉めた状態で「スタート」スイッチを押しても、ブザーが「ピピピピピッ」と鳴り、操作を受け付けません。

- ii) 「スタート」スイッチを押して電源を「入」にします。
(電源は「コース」および「予約」スイッチでも「入」にすることができます。)

- iii) 「スタート」スイッチを5秒長押しします。
(このとき電源が「切」の状態になりますが、そのまま押し続けてください。)

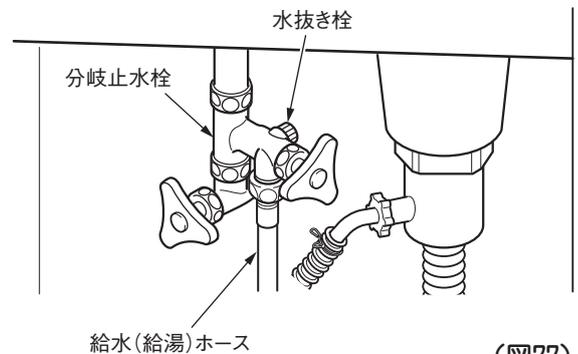


ブザーが「ピピピピピッ」と鳴り、冷水の排水行程が設定されます。

- ②冷水の排水行程を取り消したいときは上記の操作を再度行ってください。(「ピピッ」とブザーが鳴ります。)

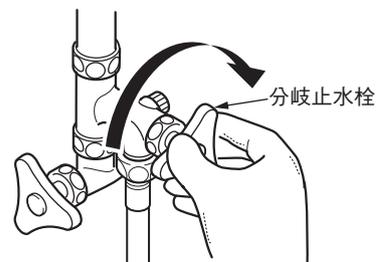
寒冷地において冬季長期間使用しない場合の水抜き方法

- ①シンク下または点検口の内部で、給水（給湯）ホースが、分岐止水栓に図77のように接続されています。



(図77)

②分岐止水栓を閉じます。(図78)

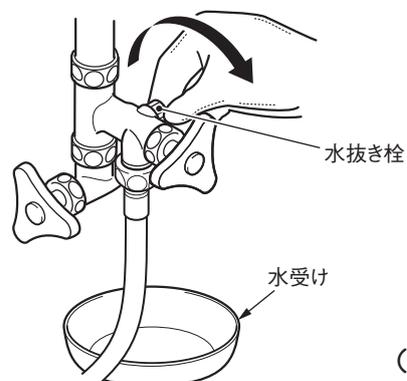


(図78)

③水抜き栓の下に水受けを置き、水抜き栓を取りはずします。

(図79)

※水受けは約100mL が受けられる皿またはトレーなどを準備してください。



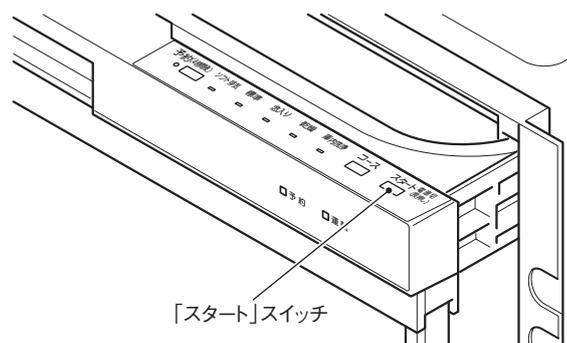
(図79)

④「スタート」スイッチを押して、電源を「入」にします。

⑤コースは「乾燥」以外を選択してください。

⑥ドアをゆっくり閉めて、運転をスタートします。

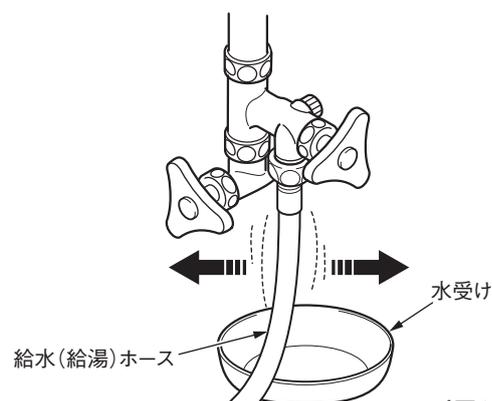
(給水弁が開放されます。)



(図80)

⑦給水(給湯)ホースを左右に振ったり、軽くたたいたりして衝撃を与えます。(図81)

⑧水受けに残水が排出されたあと、水抜き栓開口部に乾いた布を押し当て、水滴が落ちなくなるまで内部の水を吸い取ります。



(図81)

⑨「スタート」スイッチを長押しして、電源を「切」にし、排水水を処理します。

⑩③でははずした水抜き栓を取り付けます。

※分岐止水栓は再度使用するまで、閉じたままにしてください。

⚠注意

■水抜き栓は必ず取り付ける



●水槽内に食器かご、小物入れが入っていることを確認してください。取扱説明書はお客様に渡してください。

●保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

13 仕様

型 式	RSWA-C402C	
電 源 電 圧	AC100V	
周 波 数	50Hz または60Hz	
定 格 電 流	8.7/8.9A	
消費電力	洗 浄 モ ー タ	65/85W [50/60Hz]
	ヒ ー タ	800W
	最 大 消 費 電 力	865/885W [50/60Hz]
外 形 寸 法	(幅) 448mm × (奥行) 570.5mm × (高さ) 450mm	
質 量	20.0kg	
水 圧	0.03~ 1 MPa (0.3~10kgf/cm ²)	
洗 浄 方 式	回転ノズル噴射式	
すすぎ方式	ためすすぎ方式	
乾 燥 方 式	ヒータとファンによる強制排気乾燥	
庫 内 容 積	36L	
標 準 収 納 容 量	大皿 4点・中ばち 4点・小皿 6点・茶わん 5点・吸物わん 5点・ 湯のみまたはコップ 9点・はし 4組・スプーン 4点・フォーク 4点	

※電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を作動させるため、約1W 電力を消費しております。

製造者

リンナイ株式会社

